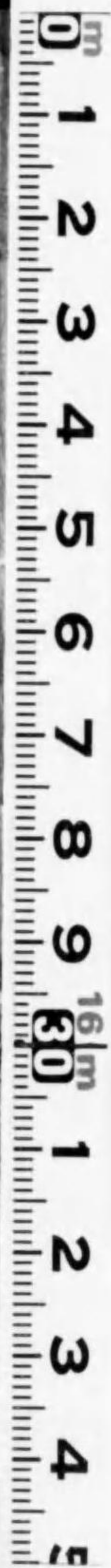


納本

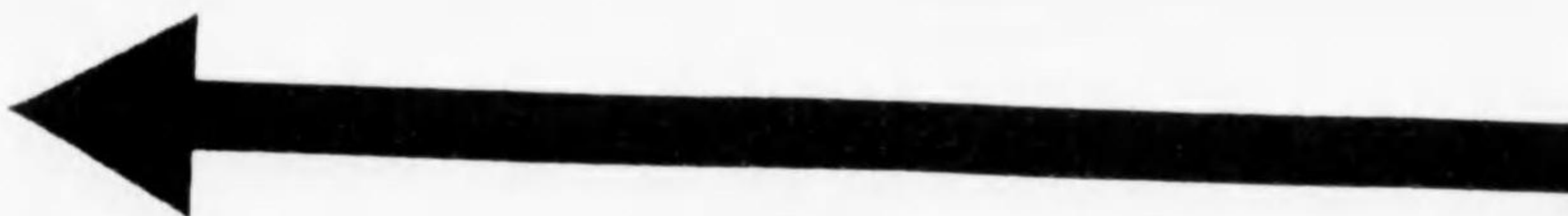
323  
195

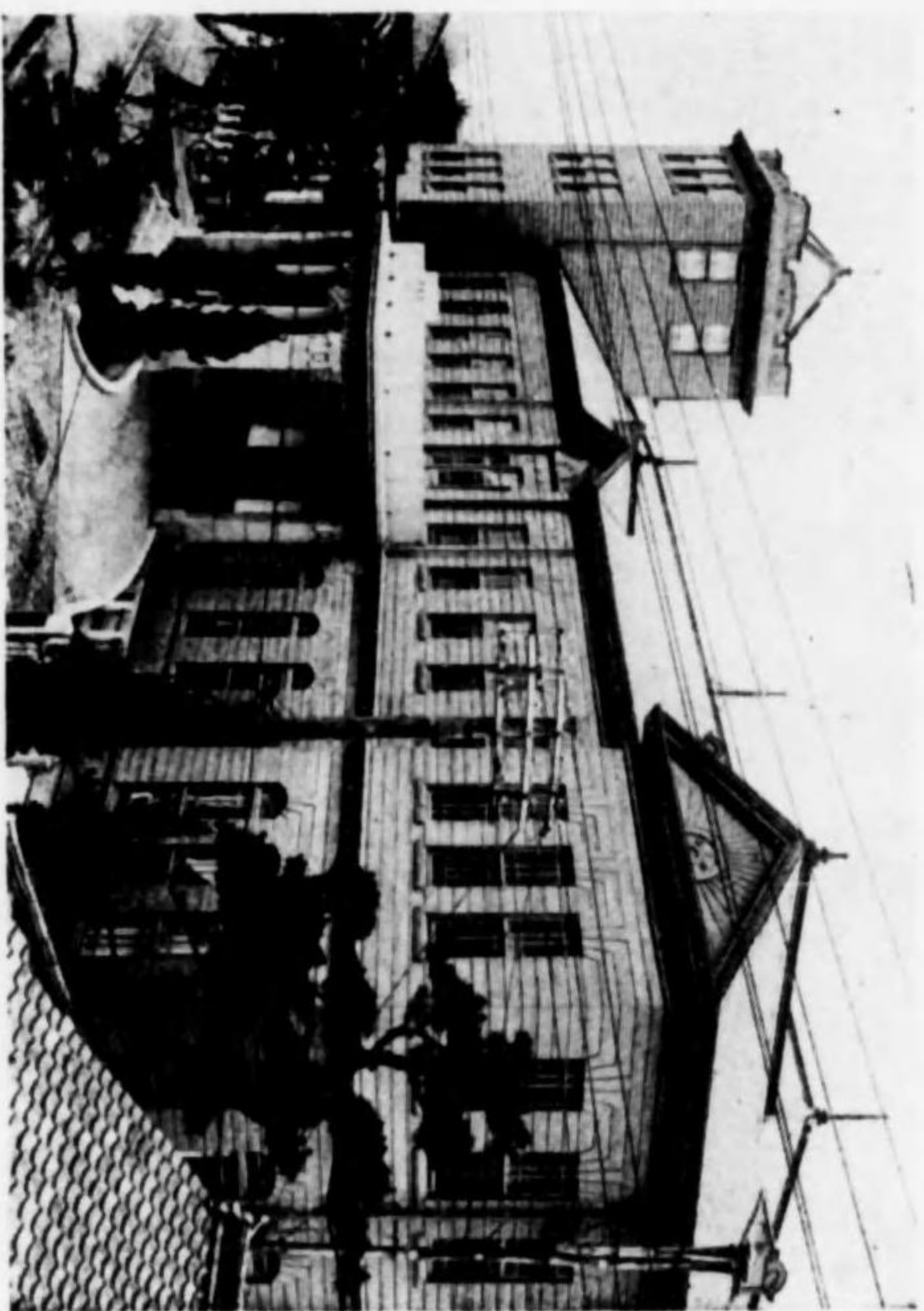
字

部



始





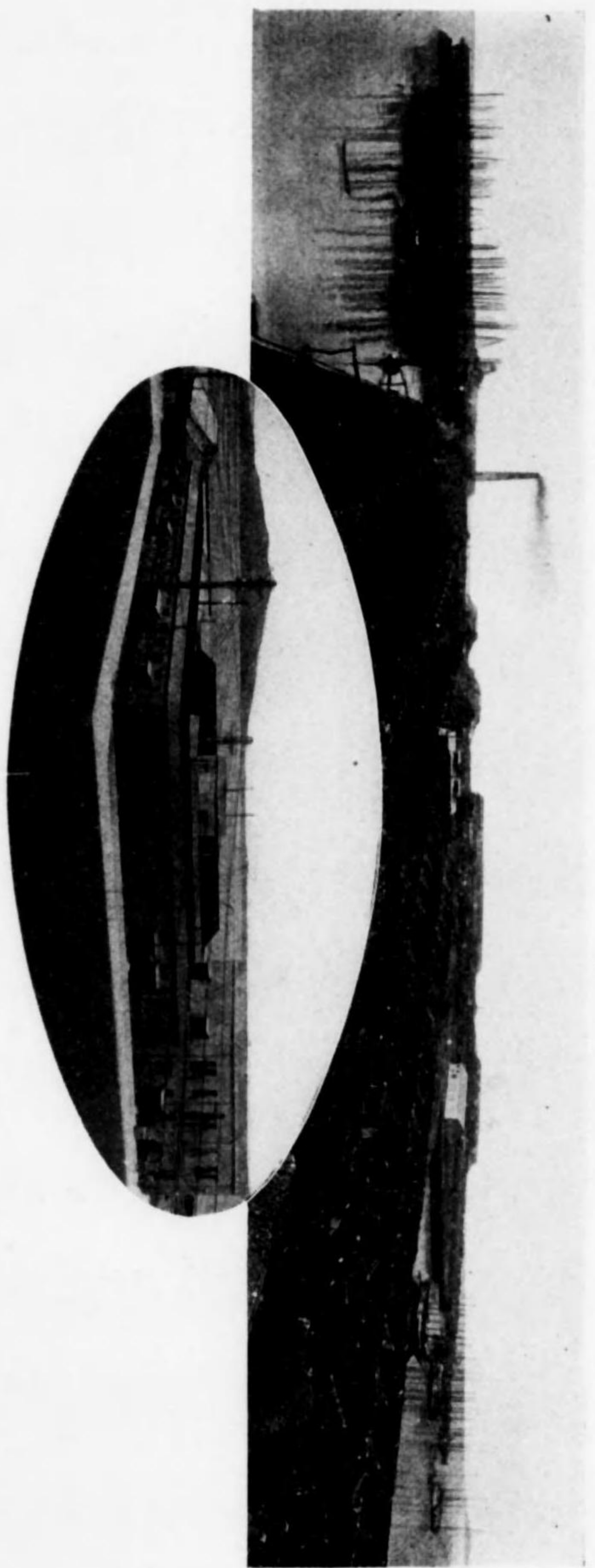
宇部市役所



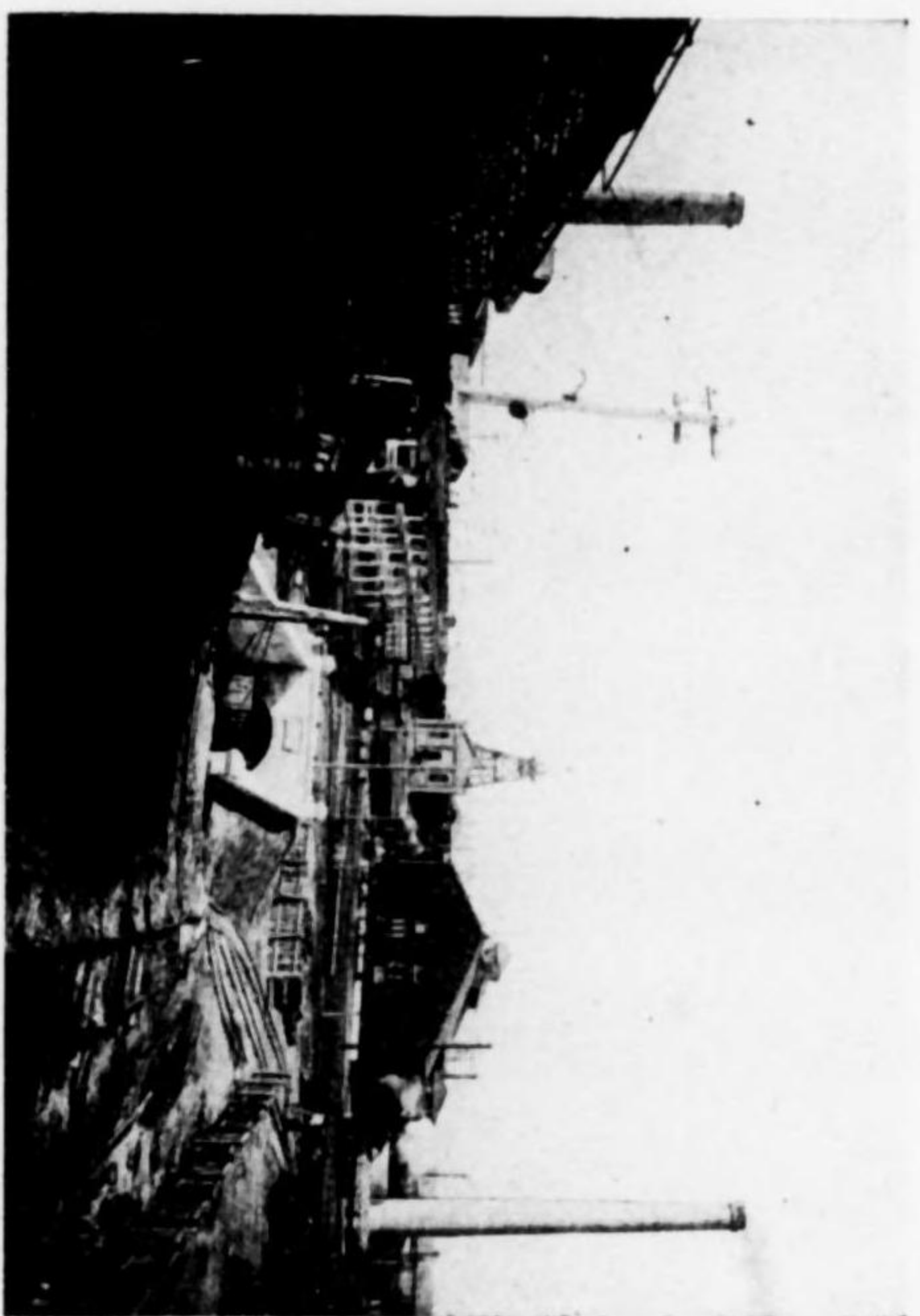


會工商部字

沖ノ山炭礦





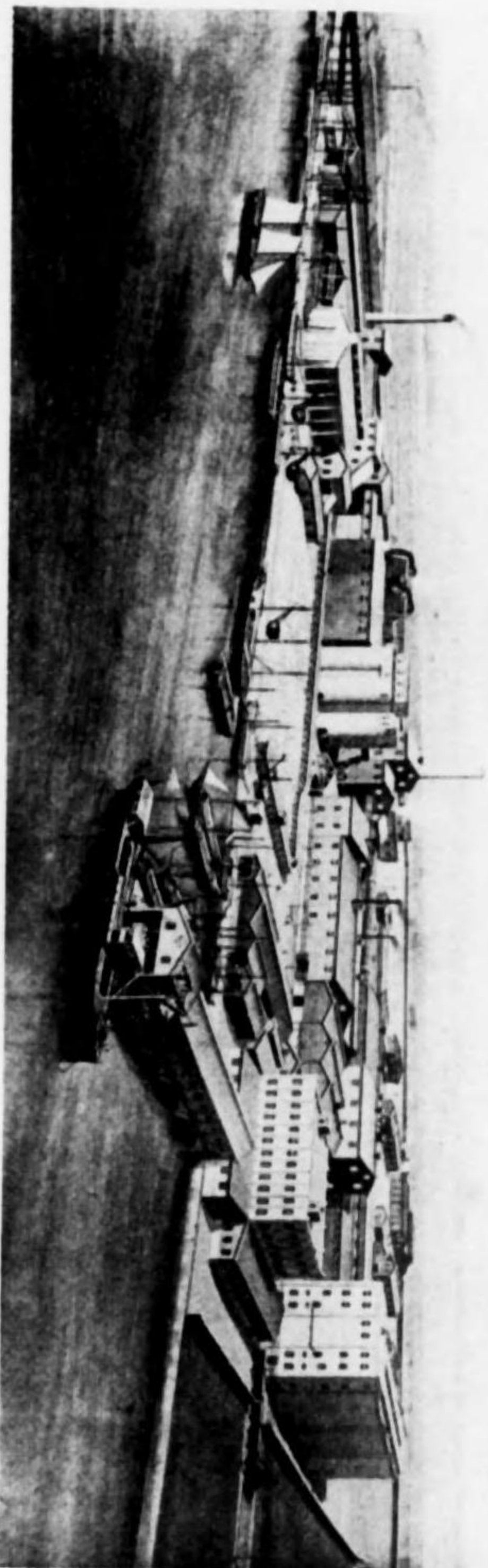


鐵 廠 初 見 東

沖見初炭鑛



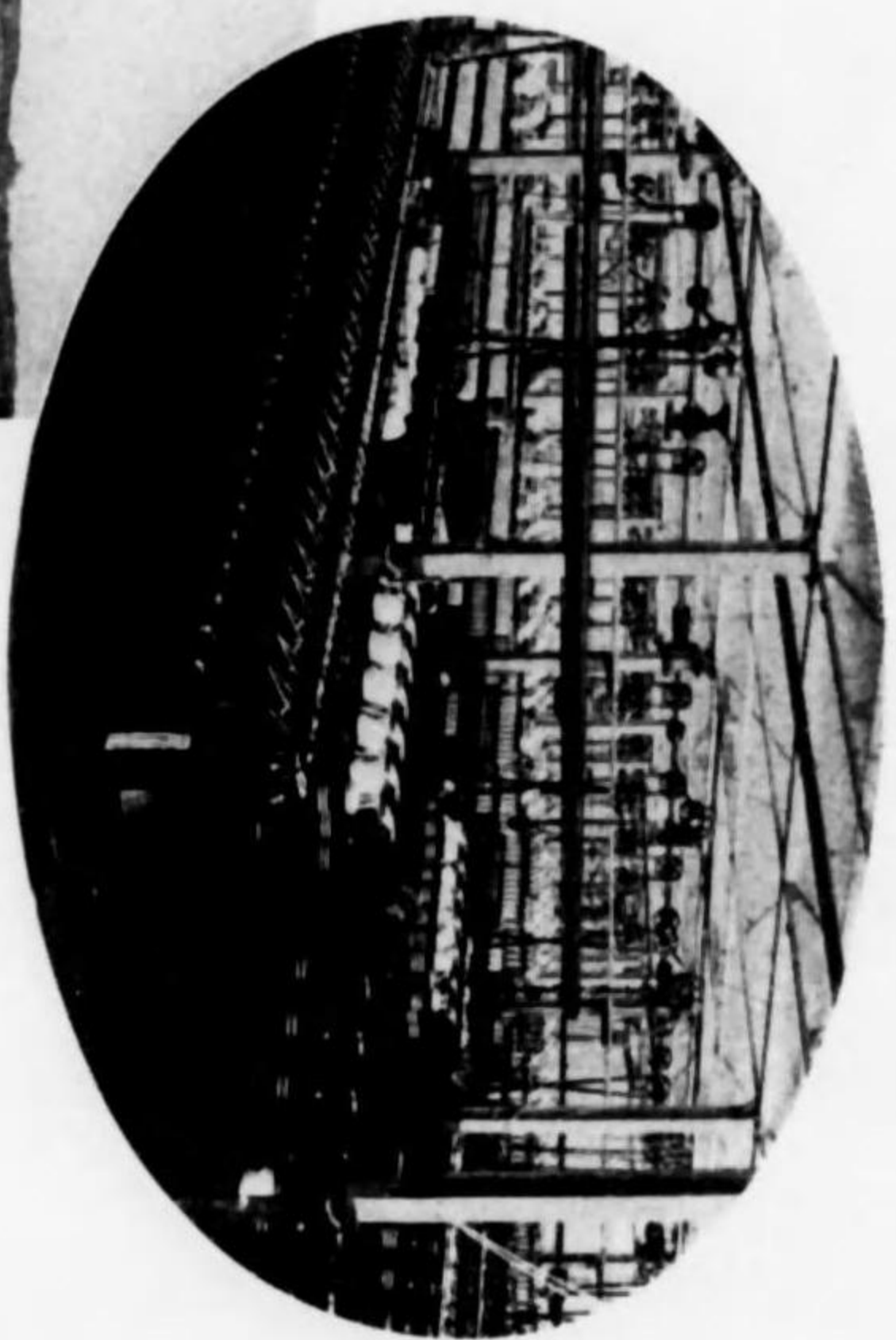




社 會 式 株 造 製 ト ン メ セ 部 宇



宇 紡 織 株 式 會 社





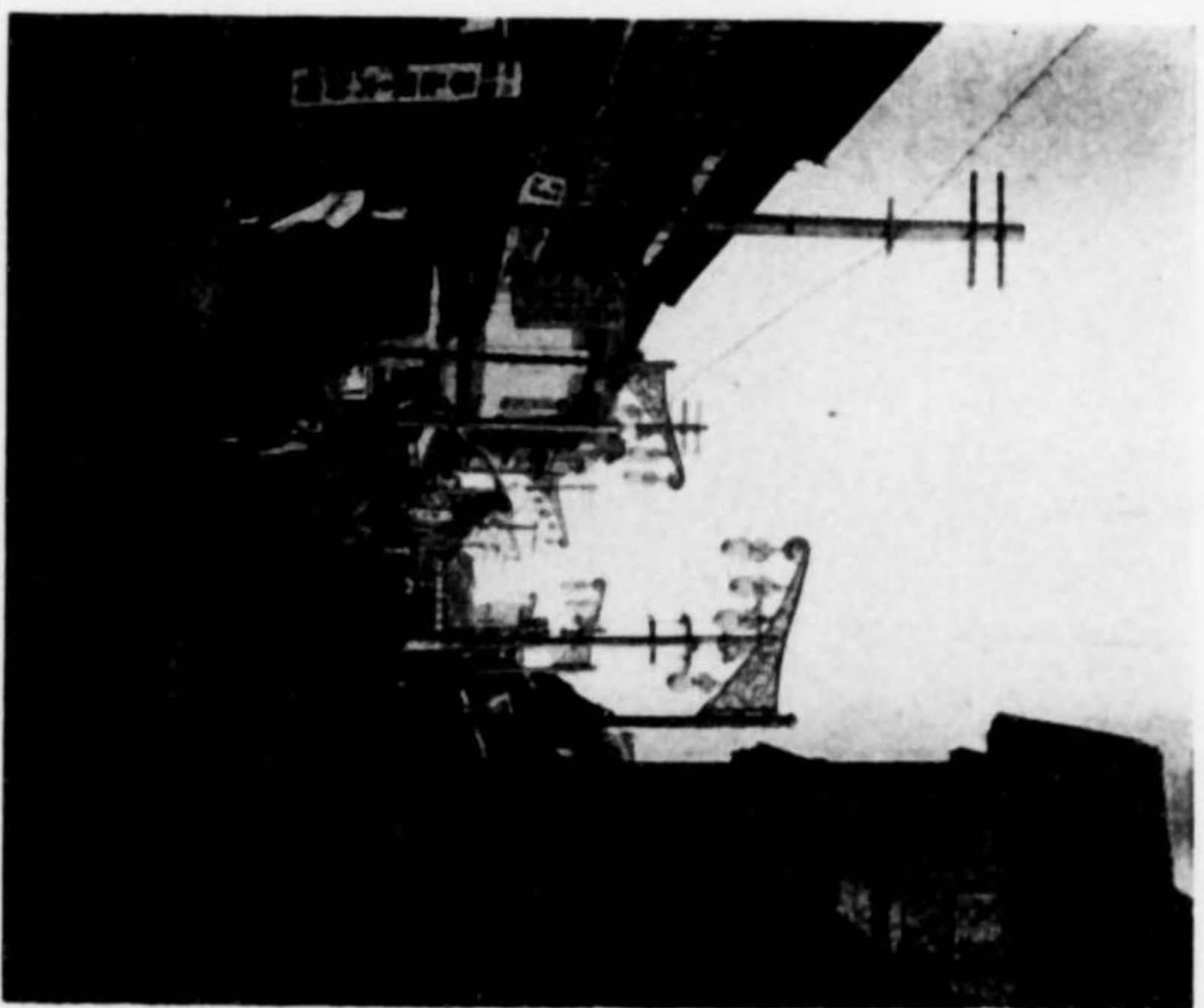


行 銀 部 字

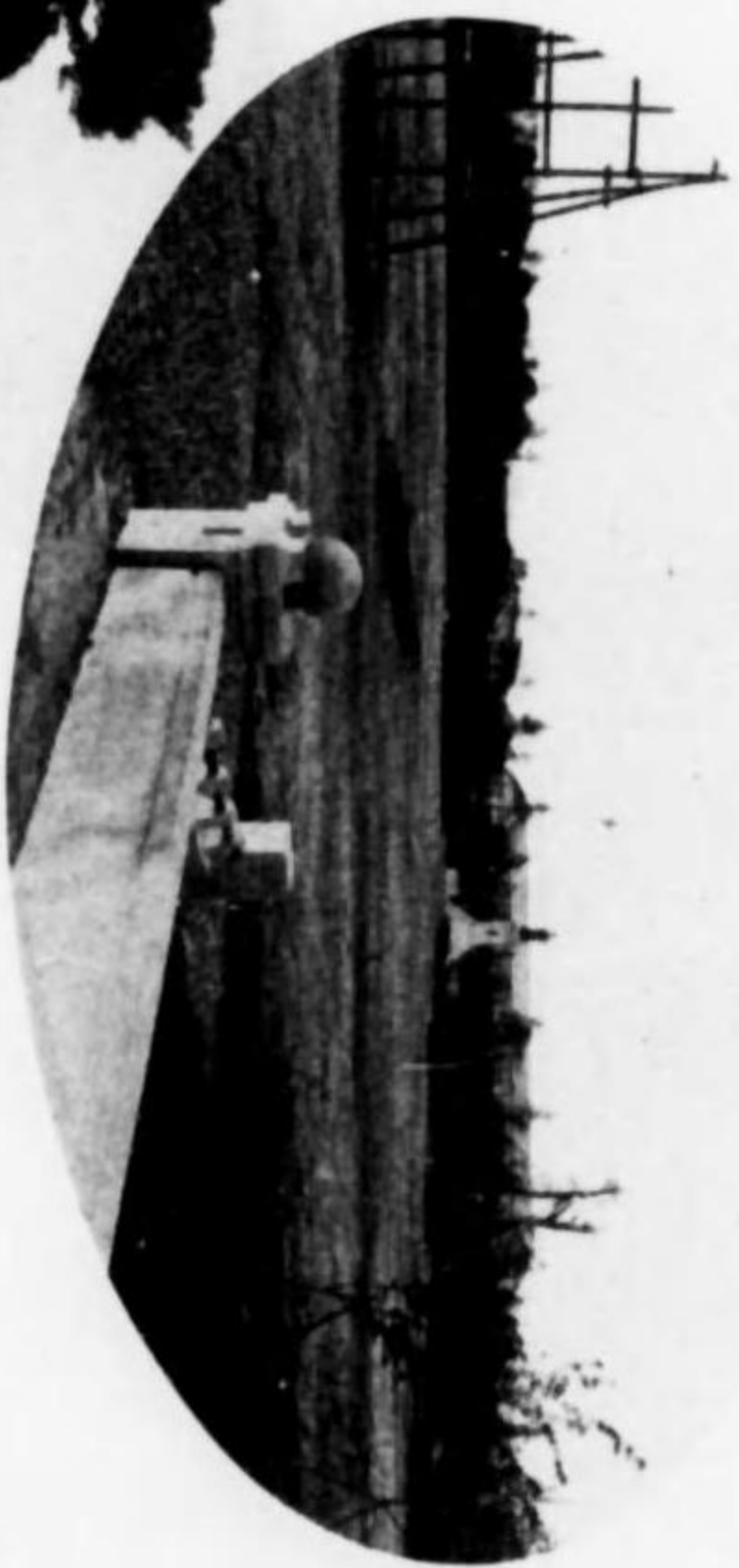


通盤常區車





町 本 區 西



神原公園

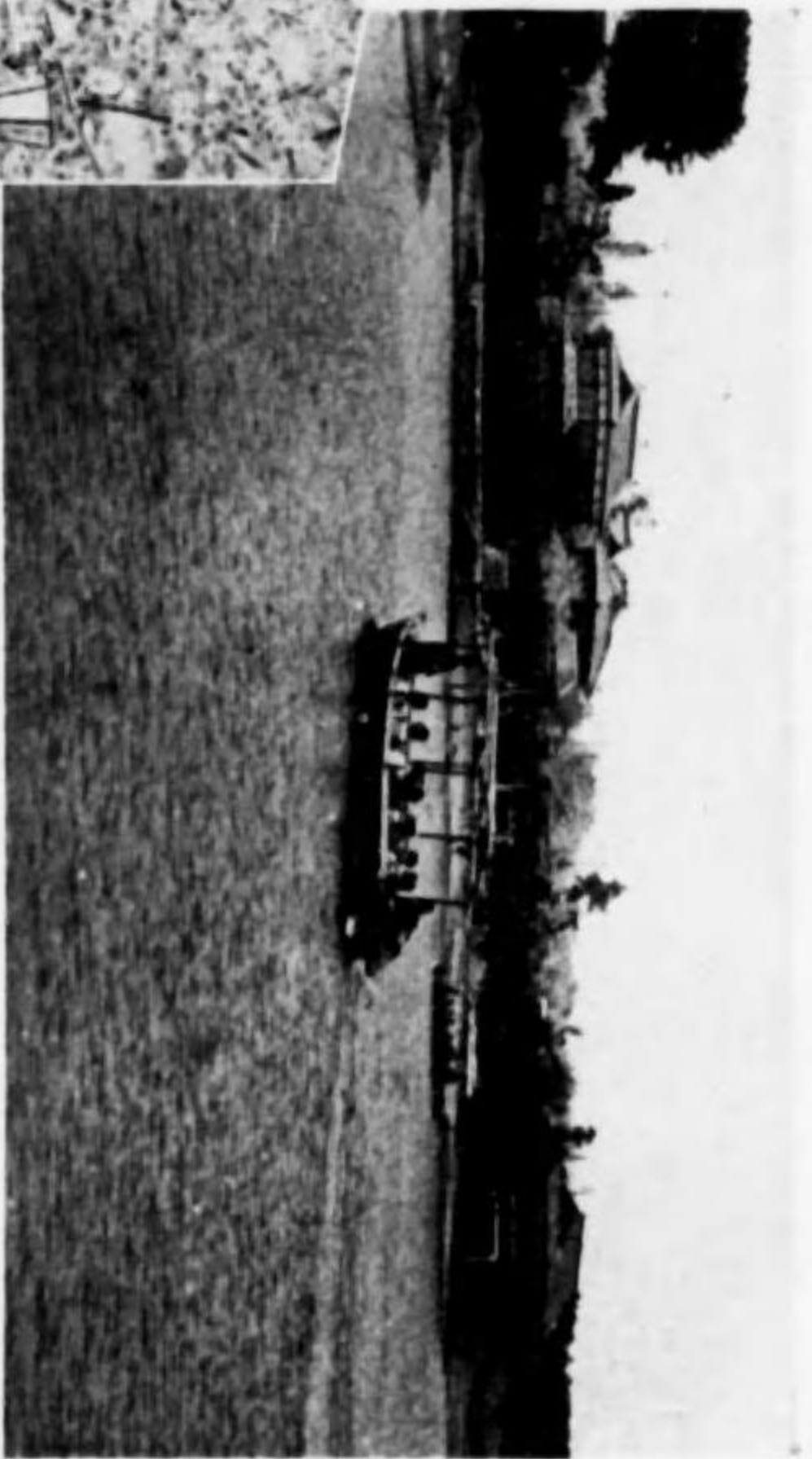


常盤公園

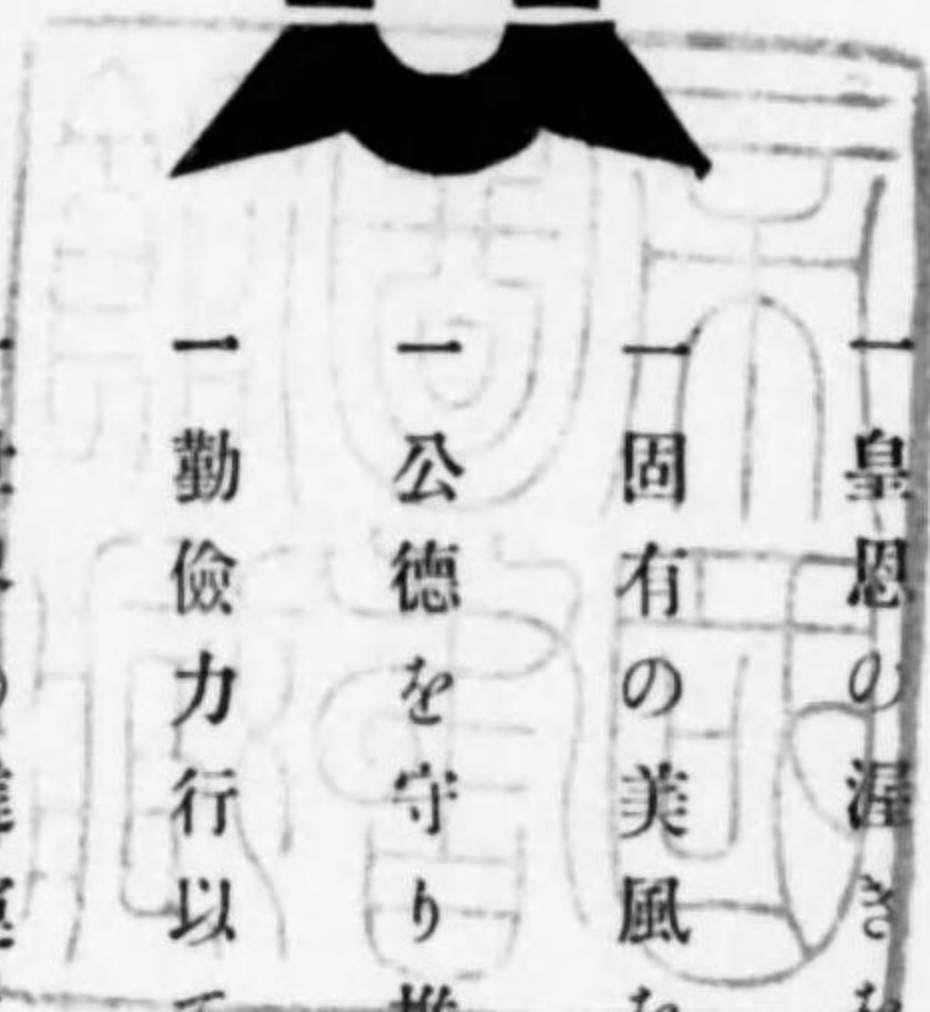




常盤公園櫻山(木下芳太郎經理)



# 宇部市憲



- 一 皇恩の渥きを奉戴し益義勇奉公の誠を致すへし
- 一 固有の美風を發揮し協同一致の精神を貫くへし
- 一 公德を守り推譲を重んじ共存同榮の實を擧ぐへし
- 一 勤儉力行以て文化生活を進め大に社會奉仕に努むへし
- 一 世界の進運に鑑み銳意内容の充實を期し本市の使命を全ふ

すへし





## はしがき

一、本書は宇部市に於ける商工鑛界の大勢を普く内外に紹介し商取引の便に供する目的を以つて編纂し記事統計等は努めて最新のもの  
を輯録することゝした。

一、本書に附した商工人名録は縣稅營業稅負擔者までの程度に止めた  
るが特種の業態に就いては編輯の都合に依り省略するの止むなき  
に至つたものもあつたことを遺憾とする。

一、商工人名録配列の順序は業態別慣例町順に依つたものである。

昭和四年五月

編者識す。

## 「宇部案内」目次

一、宇部市沿革……………	一	(ハ) 商工組合一覽……………	一六
二、地勢……………	一	(イ) 沿革……………	一七
三、人口及戸數……………	二	(ロ) 宇部式組合組織……………	一九
(イ) 人口増加状況……………	二	(ハ) 海底炭田の開發……………	二〇
(ロ) 職業別戸數比較表……………	四	(三) 炭屑……………	二〇
四、宇部市と宇部驛……………	四	(ホ) 炭質及用途……………	二一
五、主要生産品……………	五	(ヘ) 炭坑……………	二三
六、商工業……………	七	八、金融……………	二七
(イ) 商工業概観……………	七	(イ) 銀行預金貸付金一覽表……………	二七
(ロ) 宇部新川港貿易表……………	九	(ロ) 市内銀行……………	二七
(ハ) 市内各驛貨物發着噸數……………	一〇	九、交通運輸……………	二八
(ニ) 品目別貨物發着噸數……………	一二	(イ) 道路……………	二八
(ホ) 會社一覽……………	一三		



(ロ)	鐵道	二九
(ハ)	自動車	三三
(ニ)	海運	三三
(ホ)	港灣	三四
十、	雜	三六
(イ)	主なる官公署其他	三六
(ロ)	宇部共同義會	三七
(ハ)	學校	三八
(ニ)	新聞	三九
(ホ)	スポーツと娛樂場	三九
(ヘ)	名所社寺	四〇

附  
商工人名錄

宇部案内

一、宇部市沿革

本市は中古久しく厚東氏の所領であつたと言はれ、其後大内氏に移り、次いで毛利氏の領となるに及んで、寛永二年福原氏の有となつた。廢藩置縣の後明治十二年以後、當時の川上村上宇部村、中宇部村、沖宇部村、小串村の五箇村を以つて一區域と定め、戸長を置いて、之を管轄することゝなつた爲め、明治二十二年町村制の實施に際しても此の五箇村を合して宇部村と稱し、大正十年十一月一日市制を施行し宇部村を廢して一躍宇部市となり、現在に至るまで、其の地區を踏襲することゝなつた。

二、地勢

本市は山口縣長門國の南端に位し、東を防長兩國の境界とする東西一里二十町、南北二里十町、面積二方里弱の地域で、北部は丘陵起伏し南方周防灘に面せる海岸線には東西に細長き



市街地を形成し、所謂海底炭礦の礦業地はその一部である。山陽線宇部驛より小郡驛に連結する、宇部鐵道は本市の中央を貫通し、近く完成せんとする港灣設備と相俟つて、將來工業地帯としての躍進を期待せしむる情勢を示して居る。本市の東部には中國第一の大池常盤池がある。入江を有すること九十九、東西二十丁、南北二十六丁、周圍三里、水面の面積百八町五反にして常に雨水を貯溜し、四百町歩餘の田園に對して灌漑の便を與て居る。本池は元祿十四年當時の邑主福原家の家臣椋梨權左衛門俊平なる人が築造したもので一千餘戸の住民に至大の恩惠を感せしめて居る、然も山水の風光賞すべきもの多く、その一部を公園に充て市民の行樂慰安の地とするに至つた。

### 三、人口及戸數

#### (イ) 人口増加狀況

本市の人口は明治四十一年以來、炭礦業の進展に伴ひ、急激に増加し、明治四十一年には一萬一千五百二十六人に過ぎなかつたものが十年後の大正七年には三萬五千六百六十五名となつ

て約三倍に膨脹し、二十年後の昨年末には五萬六千三百九十一人を算し、五倍に達した。殊に大正七年の如きは一ヶ年間に約九千人の増加を示した程で、爾來十ヶ年間引續き年々四五厘見當の増加率を示して居る、自然増加を約一步とすれば、移住者に依る増加が約三步五厘で、移住者のみに依る人口の増加が年々二千人を超ゆることとなる。五ヶ年おきの人口を掲げれば次の通りである。

年次	戸數	男	女	計
明治四十一年	二、二二七	五、八七三	五、六五三	一一、五二六
大正二年	三、六六九	九、二二五	九、二四七	一七、四七二
大正七年	七、三八五	一八、五八五	一六、五八〇	三五、一六五
大正十年	九、一三三	二〇、九七二	一九、七九八	四〇、七七〇
大正十二年	一〇、二〇五	二四、二五八	二〇、六四八	四四、九〇六
昭和三年	一六、〇六六	三〇、一七九	二六、二二二	五六、三九一

因に大正十年十一月一日市制の實施さるゝまで人口約四萬を擁し全國第一の村として、知られて居た。一躍市となれるも亦宇部なるかな



(口) 職業別戸數比較表

業別	昭和三年	昭和二年	昭和元年	大正十四年	大正十年
農業	一、三九二	一、三八五	一、三八二	一、二八五	一、二六二
漁業	二〇三	二〇四	二〇三	二〇三	一九六
工業	二、七〇八	二、二一三	二、〇二九	一、九一二	一、二九八
礦業	五、五九三	五、五一一	五、九九七	五、八七五	三、一八九
商業	三、四六七	二、九九八	二、八七二	二、六五一	一、九九五
其他	二、七〇三	二、九六〇	二、九四三	二、八六七	一、二九三
計	一六、〇六六	一五、二七一	一五、四二六	一四、七九三	九、一三三

四、宇部市と宇部驛

宇部驛即ち宇部市と考へらるゝことが極めて一般的ではあるが、宇部市だけは尠くとも例外である、宇部驛に下車した旅客が、涼風坐うに誘ふ田圃を眺めて妙な氣分に捉はれるのも無理はない。山陽線の宇部驛と言ふのは、宇部市街地の中央、市役所を距ること約二里の地点

にあり、宇部市への交通は、省線に接続して居る宇部鐵道に乗り替へて、宇部新川驛、東新川驛、又は宇部岬驛に下車するか、乗合自動車の便を藉らねばならぬ。宇部市への旅客は特にこの点に御留意を乞ふ次第である。宇部市内各驛と宇部驛及小郡驛間の距離を營業哩程で示すこととする。

五、主要生産品

省線宇部驛より	宇部鐵道	宇部新川驛まで	三哩八
全	全	東新川驛まで	四哩九
全	全	宇部岬驛まで	五哩九
省線小郡驛より	全	宇部岬驛まで	一四哩七
全	全	東新川驛まで	一五哩七
全	全	宇部新川驛まで	一六哩八

(昭和三年)  
石炭 數量 一、四九九、七五二噸 價額 一一、九九〇、〇〇〇圓



セメント	一、〇〇二、一二五樽	五、〇一〇、六二五圓
綿糸	一〇、〇四七捆	三、一三二、六六〇圓
米	一五、六三七石	四三五、六五八圓
鐵工品、船舶	—	四二七、二〇〇圓
製材製樽	—	三四五、〇〇〇圓
蔬菜青果	—	二四三、七〇〇圓
水産物	二八七、〇二三貫	二一八、四〇七圓
醬油	六、〇〇〇石	二一〇、〇〇〇圓
蒲鉾竹輪	—	一一四、〇〇〇圓
乾鰯	一三、〇〇〇貫	一〇四、〇〇〇圓
打綿	三七、八二三貫	九二、六五一圓
麥酒	六、四七〇石	八七、〇〇〇圓
清酒	九一七石	八〇、六五八圓

(セメントは將來倍額なる見込)

煉炭	五四、八〇〇箱	五七、八九六圓
鶏卵	一、二五二千個	五〇、〇九三圓

## 六、商工業

### (イ) 商工業概観

宇部市は恰も北九州に於ける八幡、大牟田、戸畑の各急進都市の如く、特殊の天恵地利により、極めて順調且迅速に發展した急進都市の一つであつて現在の市街地はもと、文字通りの白砂青松であつた。現に古老より狐狸の怪に就いて口調も面白く語り出さるゝ地帯は大体に於て今の市街地邊りの思ひ出である。

かく一寒村から急速に今日の繁榮を來らしめたものは炭鑛業であつて、明治三十年頃より炭鑛事業の擴張と共に漸次市街地が形成さるゝに至つたものである。

明治四十二年現在の縣營發電所の前身である宇部發電所が創設されたが、之が本市に於ける株式會社の濫觴であつた。其後大正元年庶民金融機關として宇部銀行が起り、尙同年宇部鐵



道會社を設立して宇部新川より省線宇部驛間三哩八の輕便鐵道が敷設される運びとなつた、交通の便は次第に商工業に刺激を與ふる所となり、大正二年には宇部鐵工所、大正六年には宇部紡績、大正八年に宇部商事と漸次主要會社工場の誕生を見、かくて市街地も膨脹に膨脹を重ねて大正十年末には商工業者戸數三千二百九十二に達し、稍殷盛を來したが、當時は尙炭礦を中心とする一消費市場たるの觀を免れず、商圏も殆ど本市内及び近接農村の一部に限られて居た。

今や商工業者の戸數は六千餘を算し、宇部の銀座と稱する常盤通を始めとし、西本町、新町朝日町、錦橋通等の主要商店街には、鈴蘭燈を建設し町並も繁華、盛大となり他都市の市街地と變る所無き迄に急進し、近く完成する港灣設備は本市商工業に劃時代的の躍進を促すもので、西は關門兩港、東は廣島地方と對抗して、販路の開拓、物資の集散生産工業の勃興等所有商工進展策に對し非常なる意氣込を示さしむるに至つた。

昭和三年十一月一日都市計画法實施

然して宇部の商界は炭礦業に關けたる關係上坑木、石炭、地金、油類の各商蕪を唱へ漸次日用品、吳服、雜貨等の擡頭となり、一面セメント、紡績、鐵工、製材等工業の勃興に刺激せ

られて、著しく市街地としての潤飾を速進せしむるに至つたもので、移入品の主なるものは坑木、油類、鐵鋼、紙、織物、海産物等が順次に擧げられ、移出品には石炭、セメント、綿糸を大宗とし、打綿、製炭之に亞ぐ。夙に名聲を馳せたる宇部名産乾鰯や澤庵漬も相當な額を示すに至つた。

(口) 宇部新川港貿易表

(昭和二年中)

移出	移入	移出	移入
石炭	一、四二五、九〇〇噸	セメント	一五三、六〇〇噸
綿糸	七四二	打綿	一一七、七〇〇
綿布	一〇七	乾鰯	八六、四〇〇
製炭	一、八六六	澤庵漬	一七、八〇〇
雜	一四〇		
移出總額	一、五八二、七八三噸	移入總額	四、三〇一、五〇〇圓
移出總額	二、〇三四、七一〇噸		
		移出總額	二〇、二五五、〇〇〇圓
		移入總額	一五、九五三、五〇〇圓



坑木及材	四二九、五〇〇噸	八五九、〇〇〇圓	油類	五、四一四噸	八二七、五〇〇圓
鐵鋼金物	二、六二八	三八三、四〇〇	紙	二六四	二九一、〇〇〇
織物	一五〇	二七三、三〇〇	海產物	七六〇	二四五、九〇〇
酒麥酒	五二七	一五七、八〇〇	穀粉澱粉	六〇四	一五二、七〇〇
米	七一〇	一一六、六〇〇	雜穀	八四〇	一〇六、五〇〇
藥品	一〇〇	一〇三、〇〇〇	乾物野菜	一四一	九五、五〇〇
砂糖	二三〇	八五、一〇〇	生果	六四九	八三、六〇〇
薪炭	一、四〇〇	八一、〇〇〇	菓實	二三五	七〇、五〇〇
豆粕及肥料	五四五	六三、〇〇〇	罐詰其他	三三一	四八、九〇〇
其他肥料	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	食料雜品	四、七〇〇	一七、一〇〇
石炭	二〇〇	二二〇、〇〇〇	石材		

(八) 市内各驛貨物發着噸數

發送總噸數	昭和二年中	三三三、四四二噸	〔セメント及石炭を主とする〕
	昭和三年中	三四、二七二噸	

宇部新川驛	昭和二年	一、一九三	昭和三年	一、二八七	小計
	昭和二年	八六五	七六〇	二六、五一九	
東新川驛	昭和二年	二九五	二七九	九一七	口
	昭和二年	二、三五三	二、三二六	三、六五三	
宇部岬驛	昭和二年	二、三五三	二、三二六	三一、〇八九	袋
	昭和二年	二、三五三	二、三二六	三一、〇八九	
合計	昭和二年	一、一九三	一、二八七	二六、五一九	切
	昭和二年	八六五	七六〇	九一七	
合計	昭和二年	二、三五三	二、三二六	三一、〇八九	計
	昭和二年	二、三五三	二、三二六	三一、〇八九	

到着總噸數

宇部新川驛	昭和二年中	三、八三九	昭和三年中	三、八三一	小計
	昭和二年	九二二	九三四	三九、六五四	
東新川驛	昭和二年中	七〇四	八〇〇	四、五〇八	口
	昭和二年	五、四六五	五、五六五	四、六八六	
宇部岬驛	昭和二年中	五、四六五	五、五六五	一四、六八六	袋
	昭和二年	五、四六五	五、五六五	一四、六八六	
合計	昭和二年中	三、八三九	三、八三一	三九、六五四	切
	昭和二年	九二二	九三四	四、五〇八	
合計	昭和二年中	七〇四	八〇〇	一四、六八六	計
	昭和二年	五、四六五	五、五六五	一四、六八六	
合計	昭和二年中	五、四六五	五、五六五	一四、六八六	計
	昭和二年	五、四六五	五、五六五	一四、六八六	

〔坑木を主とし、石膏、石炭、綿花之に亞ぐ〕



(二) 品目別貨物發着噸數

品目別に依る貨物發着噸數に就ては年間を通じての統計無く洵に遺憾であるが最近一ヶ月分の統計を掲げて参考とする。

昭和四年一月中主要貨物發送噸數

品目	發送噸數			計
	宇部新川驛	東新川驛	宇部岬驛	
セメント	一、二二四	噸	噸	一、二二四
石炭	六三六	噸	噸	八九二
穀類	一	噸	噸	三六
粗材	二四	噸	噸	三七
空俵	三六	噸	噸	三六
コークス	一八	噸	噸	三五
酒類	九	噸	噸	一七
合計	一、九五六	噸	噸	一、九五六
鐵器	九	噸	噸	九
肥料	一六	噸	噸	一六
薪瓦	一六	噸	噸	一六
煉皮	一	噸	噸	一
牛皮	一	噸	噸	一
其他	一〇	噸	噸	一〇
合計	三二八	噸	噸	三二八

昭和四年一月中主要貨物到着噸數

品目	到着噸數			計
	宇部新川驛	東新川驛	宇部岬驛	
坑木	一、五二〇	噸	噸	一、五二〇
粗材	四二一	噸	噸	四二一
石炭	四五六	噸	噸	四五六
石膏	三〇〇	噸	噸	三〇〇
棉花	二四〇	噸	噸	二四〇
無煙炭	一〇六	噸	噸	一〇六
薪炭	一四九	噸	噸	一四九
穀類	一八	噸	噸	一八
石灰	三六	噸	噸	三六
合計	三、四七八	噸	噸	三、四七八
肥料	一	噸	噸	一
麻袋	七二	噸	噸	七二
ワイヤロープ	三六	噸	噸	三六
紙袋	二四	噸	噸	二四
酒類	八	噸	噸	八
コークス	一	噸	噸	一
其他	九二	噸	噸	九二
合計	五二二	噸	噸	五二二

株式會社

(水) 會社一覽

(市内に本店を有するもの)

株式會社	代表者	創立	資本金	主要業務
宇部鐵道株式會社	高良宗七	明治四四、一二	二、五〇〇、〇〇〇	鐵道、自動車運輸
株式會社 宇部銀行	藤本閑作	明治三一、三	二、〇〇〇、〇〇〇	一般銀行業務



株式會社宇部鐵工所	牧 三平次	大正六、一二	五〇〇、〇〇〇	諸機械製作、鐵工造船
宇部紡績株式會社	渡邊祐策	大正七、六	一、五〇〇、〇〇〇	綿糸製造販賣
宇部商事株式會社	上郷與吉	大正八、五	二五、〇〇〇	諸機械工具類販賣
宇部セメント製造株式會社	渡邊祐策	大正一二、九	七、〇〇〇、〇〇〇	一般工事請負
旭醬油醸造株式會社	金野藤衛	大正一三、六	一〇〇、〇〇〇	セメント製造販賣
宇部酒造株式會社	大木金一	大正一四、二	四六、二〇〇	醬油、味噌醸造販賣
宇部自動車株式會社	藤川喜太郎	大正一五、一〇	一〇〇、〇〇〇	酒釀造販賣
西沖ノ山製材株式會社	高良四郎	大正一五、一一	二五〇、〇〇〇	乘合、貸切自動車
宇部電氣鐵道株式會社	渡邊祐策	昭和二、七	五〇〇、〇〇〇	セメント容器製造
日本發動機油株式會社	安住省一	昭和三、一	二〇〇、〇〇〇	製材、木材賣買
宇部海陸運送株式會社	篠崎留吉	昭和三、四	一〇〇、〇〇〇	旅客貨物運輸
株式會社元山商會	濱田久七	昭和三、一〇	二〇〇、〇〇〇	發送取換倉庫棧橋業
沖ノ山炭礦株式會社	渡邊祐策	昭和三、一〇	一三、〇〇〇、〇〇〇	炭坑用品及船具販賣
				石炭採掘、鐵道、病院經營
				土地埋立、燃料製造

**合資會社**

三輪商事合資會社	三輪健助	大正八、一	一二、〇〇〇	仲介業、寄託業
合資會社丸惣吳服店	荒井喜久司	大正一〇、八	一五、〇〇〇	吳服雜貨類販賣

合資會社宇部製材所	上郷與吉	大正一一、五	一八、〇〇〇	製材及木材賣買
合資會社上田本店	兵頭繁雄	大正一四、一	二〇、〇〇〇	坑木、材木、石炭賣買
合資會社二葉屋洋服店	森山益雄	大正一四、六	三、五〇〇	洋服、ラシヤ販賣
合資會社大津屋洋品店	林 佐市	昭和二、八	三、五〇〇	和洋雜貨販賣
合資會社德澤材木店	德澤忠雄	昭和三、三	一四、九六〇	木材販賣
合資會社トモ之自動車商會	藤城政吉	昭和三、五	五、〇〇〇	自動車運輸、販賣修理
日本製炭合資會社	平井種藏	昭和三、五	二〇、〇〇〇	石炭乾溜及販賣
合資會社黒川商店	黒川唯一	昭和三、一二	一、一〇〇	家具販賣

**合名會社**

合名會社三原吳服店	三原傳次郎	大正七、五	七七、〇〇〇	織物、雜貨販賣
合名會社内田金物店	内田金作	大正一一、一一	五〇、〇〇〇	地金金物礦業用品販賣
合名會社小松屋百貨店	小笠顯吉	大正一二、六	一六、五〇〇	和洋雜貨販賣
合名會社宇部製菓商會	上田滿策	大正一三、一	二七、〇〇〇	菓子製造販賣
合名會社杉村工業所	眞鍋彌一郎	大正一三、四	二〇、〇〇〇	土木建築請負
石土合名會社	石土笹太郎	昭和二、一二	六、〇〇〇	材木、板類販賣
合名會社秋重内燃機製作所	秋重實藏	昭和三、五	三五、〇〇〇	發動機製作



合名會社友惠製菓商會 目 文 七 昭和三、八  
 合名會社東谷商會 東 各 種 糧 昭和四、二

一、五〇〇  
 一八、〇〇〇

菓子製造販賣  
 セメント、煉瓦、土管販賣

(ハ) 市内商工組合一覽

組 合 名	組 合 長 名	組 合 名	組 合 長 名
宇部石炭商組合	名和田政助	宇部坑木商組合	内山芳太郎
宇部金物船具商組合	島田多一郎	宇部藤山自轉車業組合	藤城政吉
宇部時計商組合	國廣清助	宇部藤山洋服商組合	森山益男
宇部雜貨商組合	竹山德平	宇部履物商組合	中崎福松
宇部製靴業組合	竹本助二郎	厚字藥業組合	濱田睦士
宇部藥業組合	佐村信一	宇部書藉商組合	末廣薰夫
宇部藤山株式問屋組合	藤本市藏	宇部質屋營業組合	堀 半 治
宇部酒類卸賣組合	善甫東次郎	宇部青果乾物組合	末繁與一

(16)

宇部獸肉商組合	中村友一	宇部藤山菓子商組合	山口茂々吉
宇部魚仲買組合	松原利助	宇部市厚袋郡乾蝦製造組合	松 田 長 藏
宇部壘商組合	田中音松	宇部木炭商組合	山田伊之助
宇部宿屋業組合	八木安助	宇部東區料理屋組合	一部山本讓一 二部木下治吉
宇部西區料理屋組合	住宮藤一	宇部西區飲食店組合	千 布 兵 吉
宇部湯屋業組合	内山芳太郎	宇部表具建具商組合	花田新次郎
宇部古物商組合	藤堂祐太郎	宇部撞球組合	伊 藤 四 郎
宇部藤山理髮組合	藤城諒策	宇部植木商組合	黒田宇三郎
宇部藤山代書人組合	藤本源之進		

(17)

七、鑛 業

(イ) 沿 革

宇部元山炭田の開發は遠く約二百五十年前延寶年間が始まつたもので、當時は僅かに地方農



民が自家用の焚き炭を採掘する程度に過なかつたが、文化文政の頃之を塩田の燃料に供給するに至つて事業稍緒に就き、天保十一年捲揚装置南蠻車の發明(宇部の住人)によつて本事業に一の曙光を認めさしむるに至つたが、明治六年日本坑法發布と共に宇部村内の鑛業權にして他地方人士の掌握する處となつたものも尠くなかつたので、舊藩主福原芳山公は深く之を遺憾とし百方斡旋の末明治九年獨力にて其鑛業權を買収して當地炭業百年の大計を立て、斤先掘制度を設けて村民に稼業させ、只管事業の發展、販路の擴張に努めたが、其後明治十七八年頃より我國商工業の勃興に刺激され、石炭の需要逐年増加し、炭界の前途を漸く多端ならしめた。

石炭の採掘はもと、農閑期を利用して、農民の燃料を供給するにあつたが、需要の増加は遂に農閑期のみ採掘を許さず、明治二十年頃より年中無休となれるもの多く、明治二十八年には村内に於て採炭稼業をするもの廿四坑の多きに及び、石炭の販賣、材料の購入、勞働條件、賃金、經營方法、設備等に關し各坑一致協調の必要を感じ明治三十一年遂に宇部鑛業組合を創立して炭業の發展に資することゝなつた。

### (口) 宇部式組合組織

幕末の頃石炭がまだ農家の燃料の外には塩田に使用さるゝのみの頃から僅少の資金を醸出して一種の匿名組合を組織し、別に勞働者を使用せず、各自心得ある仕事に従事し、恰も家族的工業の感を呈するものがあつた。これ宇部式組合の濫觴で沖見初炭鑛と昨冬株式組織に改めた沖の山炭鑛を除いた各炭坑は現在まで依然として組合組織の儘である。明治二十年頃農繁期に至るも事業を休止せず年間通じて採炭する様になつて以來漸次事業が進展し、多額の資金を要するに至つたが尙ほ其出資株口は三十口より五十口を越えず其中心人物を頭取と稱して事業上の一切の權能を委ね、出資者で直接事業に參與しないものを陰歩と稱した。明治廿三年以降炭業は益々發展し規模も又擴大され、從來の如く少人數では事業の經營困難となつた爲めに、漸次陰歩なるもの、數を増し、事務員も百名を超え、組合員も亦數百名に上り資本總額百萬圓以上に増大するに至つたが尙往時其儘の匿名組合組織を維持し、事務員の大多數は組合員で直接事業と利害關係を有し、従つて給料の如きも上下を通じて僅かに日給六拾錢を受け頭取も同額の日給に甘んじて事業の大任を負ひ、此の中心人物の頭取を家長とし



事務員はその傘下に家族的に結合して各自其業務に従事し、賄は炭礦より支給され、朝夕食卓を共にし、和氣霽々の裏に和衷協同の實を擧げ、事業に精勵して等しく其の發展に努力する。蓋し宇部市の發展が此の事業經營法に其因をなすと云ふも敢て過去ではあるまい。

### (ハ) 海底炭田の開發

明治二十年頃から海底にも石炭の埋藏されて居ることを發見し、鑛業條例の發布と共に一般に之等の鑛業權を獲得して、海底の採炭事業に着手する様になり、蒸氣機械の利用と相俟つて宇部炭業の面目を一新し、明治四十一年宇部電氣會社を創立し、炭坑に電力を利用するに至つて、逐年非常な進展を見せ、今や海底の採掘面積三百餘萬坪、年産額壹百五十拾萬噸、海面鑛區面積五千餘萬坪に達し、我國最大の海底炭坑と稱せらるゝに至つた。

### (ニ) 炭 層

宇部炭田の地質は秩父古生層及び花崗岩床の上に成層した第三紀夾煤層で、粘質砂岩及び頁岩の互層から成り、上部は概ね五十尺乃至百尺の沖積層で被覆せられてゐる。この中に介在

して居る炭層は十四層の多きを數へ、其中主要なものは一重炭(厚さ二尺二寸)、二重炭(二尺四五寸)、大派(五尺五寸)、五段(三尺五寸乃至四尺二寸)、袴越(一尺五寸乃至二尺三尺(三尺)の六層である。炭層の走向は東西で、丘陵地に其の一端を露出し、傾斜南へ約三度の緩勾配にて平野より海底に入る。現在の稼行箇所は海底百五十尺乃至六百尺の範圍で舊海岸を距ること四千間以内の地域に在る。

### (ホ) 炭質及用途

宇部から産出する石炭は普通に宇部元山炭と稱せられ、九州炭や其の他の石炭に比べ種々な特長が認められる、即ち

第一、火付が容易なこと

第二、煤煙淡く特に臭氣が尠いこと

第三、火持が非常に良く、焚落となつても火力強烈で殆ど上木炭と同様の性能を持つて居ること



第四、粘結性を持つて居ないこと  
 等で五段炭、一重炭は家庭用（料理用、炊事用、風呂場、及暖房用）として高價な薪炭に代る安價な燃料として歓迎せられ、醸造、製菓、製糸工業等には最も經濟的な燃料として知られて居る、殊に粘結性無く火付良好な爲め粘結炭と混じてストーカー用とするには獨特の長所を有して居る。  
 大派炭は塩田用の燃料として最も好適な長所を具備して居る所から盛に愛用せられ、且つ其の焚殻は塩水濾過用として製塩を純白佳良にする性能を有する爲め、夙に斯業の推奨を博するに至つた。

元素分析表

炭名	炭素	水素	酸素	氮素	硫黄	窒素	水分	灰分
五段炭	五七、二五	四、六九	一一、九三	一、三三	〇、八六	〇、八六	一一、〇一	一〇、六六
一重炭	五七、八二	四、二四	一一、九九	一、六九	〇、七九	〇、七九	九、八〇	九、六七
大派炭	四九、一二	五、一六	一九、二一	一、八四	〇、六四	〇、六四	一、四〇〇	一〇、〇三

工業分析表

炭名	比重	水分	揮發分	固定炭素	灰分	發熱量
五段炭	一、三六〇	一一、九六	三八、四五	四三、四三	六、一六	六、〇四二
一重炭	一、三八一	五、〇〇	四五、五二	四三、八八	一〇、六〇	五、九四〇
大派炭	一、四〇八	一〇、〇三	三九、〇三	三六、九四	一四、〇〇	五、七四〇

(へ) 炭坑

沖ノ山炭鑛株式會社

沿革

明治三十年六月本市内松濱に開坑創業したが、明治三十八年以來、豊富な海底の石炭採掘に従事し今日の發展を示すに至つた、昭和三年十月株式組織に改める迄所謂字部式組合と稱せらる、一種の匿名組合組織を以つて事業の經營に當つた。

資本金

一千三百萬圓 六萬五千株 (一株二百圓)  
 拂込済資本 一千一百七十萬圓 (一株二百圓)

創立

昭和三年十月



### 東見初炭鑛

重役 社長 渡邊祐策 専務取締役 俵田明  
常務取締役 名和田哲郎 濱田久七  
鑛區 五百六十餘萬坪  
出炭量 九十五萬六千九百九噸 (昭和三年中)  
從業員 職員 二四三名 勞務者 五、九四二人 (三年末現在)  
附屬事業施設 病院の經營、海面の埋立、築港設備の完成、鐵道の經營、保育園其他の社會施設

創業 明治四十一年  
組織 匿名組合組織  
頭取 藤本閑作  
資本金 三百六万三千七百五十四  
鑛區 二百餘萬坪  
出炭量 三十六万九千六百十六噸 (昭和三年中)  
從業員 勞務者 二、三九八人 (二年末)

### 大倉鑛業株式會社沖見初炭鑛

鑛區 四百三十九万二千二百四十二坪  
出炭量 十三万五千三百八十二噸  
從業員 職員 七二名 勞務者 二、一〇〇人

### 西沖ノ山炭鑛

鑛主 國重時右衛門  
資本金 四十二万圓  
鑛區 三十二万六千五百五十坪  
出炭量 三十万噸 (昭和四年度豫定)  
從業員 職員 二五名 勞務者 一七〇名 (三年末)  
職員 三五名 勞務者 一、〇〇〇名とする見込

### 王子炭鑛

事業主 岡本三郎



見 初 炭 鑛

鑛區 二十九万七千坪  
出炭量 一千七百十四噸  
從業員 職員 一三名 勞務者 九一名

鑛主 瀬 戸 清 吉  
鑛區 十四万三千二百坪  
出炭量 二万六千五百七十四噸  
從業員 二二八人

第 二 笹 山 炭 鑛

鑛主 竹 中 初 太 郎  
鑛區 九万九千七百七十六坪  
出炭量 一万五千八百五十七噸  
從業員 職員 一五名 勞務者 二七九名

入、金 融

(イ) 市内銀行預金貸付金一覽表

年 代	定 期	當 座	特 別 當 座	預 金 計	貸 付 金
大正十三年	二、〇七八、一〇六	三二四、五五二	二、一一一、五九〇	四、五一四、二四八	四、一三一、八九四
大正十四年	二、一九九、七四五	三〇六、七〇一	一、九八八、六三三	四、四九五、〇七九	四、二三一、三五八
昭和元年	二、七九二、二〇一	五四〇、〇九八	二、〇三二、一四七	五、三六四、四四六	三、八三〇、六九〇
昭和二年	四、二三二、七九六	五四一、一五四	二、四七九、七二四	七、二五三、六七四	三、四九九、九七四
昭和三年	四、九〇三、六五九	六〇九、一一六	二、九六一、六二三	八、四七四、三九八	三、八八四、二六八

(ロ) 市内銀行

株式會社宇部銀行

本 店 東區常盤通  
上宇部支店 丹 太 郎



株式會社百十銀行  
株式會社船城銀行

西新川支店 西區小串通  
宇部支店 東區錦橋通二丁目  
宇部支店 東區榮町二丁目  
西新川支店 西區新町

### 九、交通運輸

#### (イ) 道路

近時自動車に依る運輸交通著しく頻繁となりその便否が、地方産業に重大なる關係を與ふるに至つたことは全國共通の現象であるが、本市を中心とする道路計劃にも急速な進歩が認められ、本市より放射する市外への交通路としては

宇部—小郡—山口間 指定縣道 幅員三間 二六哩五

(床波—宇部間約五哩擴張中)

宇部—船木間 縣道 幅員二間 八哩五  
宇部—小野田間 縣道 幅員二間 五哩五

の三線があり、船木線は船木で、山口線は小郡の手前で夫々山陽國道と連接し目下計劃中の隣村二俣瀬村を過り、美禰郡太田を経て萩町に通ずる南北貫通線が完成の曉は獨り本市の道路交通に一新機軸を現はすこととなるのみならず、縣交通史上に特筆すべきもので本市の交通は鐵道の電化、港灣設備の完成と相俟つて實に四通八達と稱すべき状態を示すに至つた。現在市内に於ける道路の延哩程は七三哩五に上り、大正十一年に決定を見た市街地道路網の竣成後には

六間道路 一、五四一  
四間道路 一一、五五六  
三間道路 四、〇八二  
五間道路 二、二八八  
三間道路 四、〇八二

となつて市街地の繁榮をいやが上にも速進することとなるであらう。

#### (ロ) 鐵道



本市には、宇部鐵道、宇部電氣鐵道、沖の山電氣軌道の三線がある。  
宇部鐵道

明治四十四年十二月に創立された宇部鐵道は大正三年一月宇部新川驛より省線宇部驛に至る四哩餘の開通式を挙げ次いで大正十一年より宇部新川驛、省線小郡驛間十七哩の工事に着手し、全十四年三月竣成を告げた。現在運轉哩數は省線宇部驛より本市を貫通して（市内に宇部新川驛、東新川驛、宇部岬驛の三驛がある）省線小郡驛に至る全線二十一哩餘中間驛十七にして

運轉回數 全線七回 一部五回 計十二回（上り共）  
所要時間 全線一時間五十二分

旅客運賃 宇部新川驛—省線小郡驛間 一時間十五分  
宇部新川驛—省線宇部驛間 十 八 分  
宇部新川驛より省線小郡驛まで 三 等 六 八 錢  
宇部新川驛より省線宇部驛まで 同 一 六 錢

で昨年中（自昭和二年十二月）には發着貨物十二萬噸、乗降車總人員二十五萬人を吞吐した。時代の進運に伴れ昨年宇部鐵道電化の議が成り、目下準備計劃中であるが、西岐波村床波に

變電所を設けボギー車の運轉を見ることも年内であらふ。  
電化後の宇部鐵道は

運轉時間の短縮、發着回數の増加、車内の暖房装置、煤煙の絶無等の好條件に恵まれ、四季を通して旅客の受ける便益は極めて尠くない。現在の状態では稍不便を感じないでもなかつたが電化後の鐵道の効用には殊に著しいものがあり本市の進展に資する所も亦甚大であらう。

### 貨物營業哩程

		市内各驛に至る	
		小口三級 百斤運賃	哩數
省線宇部驛より	宇部新川驛	七	
省線小郡驛より	宇部岬驛	一五	
	宇部新川驛	〇七	
	宇部岬驛	九	
	東新川驛	一七	
	宇部新川驛	〇八	
	宇部岬驛	一二五	

尙宇部鐵道は近接東岐波村波雁ヶ濱海水浴場に諸設備を施し夏季行樂の別天地とした。本海濱は文字通りの白砂青松遠淺で風光と共に危險の絶無なるを賞せられて居る。



主要都市への哩程

山口	三田尻	徳山	柳井	岩國	濱田	廣島	松江	小郡驛より以東へ
七、九	一一、一	二七、六	四九、八	七〇、三	八四、〇	九六、〇	一五九、四	
岡山	鳥取	姫路	神戸	大阪	京都	名古屋	東京	
一九六、七	二三五、〇	二七三、八	二八五、八	三〇六、一	三三二、九	四二四、七	六五九、三	
長府	下関	安岡	仙崎	門司	小倉	八幡	中津	宇部驛より以西へ
一九〇	二七、八	二八、八	三四、六	三七、八	四五、一	五一、五	七六、八	
博多	久留米	別府	有田	熊本	長崎	宮崎	鹿児島	
八六、七	一〇九、三	一一九、七	一四七、三	一六〇、七	二〇三、七	二五六、〇	二八六、一	

(下関、門司間十哩と計上す)

宇部電氣鐵道

小野田町—宇部市間五哩の電氣鐵道で今春五月に開通したものである。本電鐵の完成は小野

田町を著しく近接することとなり、今後の本市商取引上の好材料として囑目されて居る。

沖の山電氣軌道

沖の山炭鑛専用軌道で市街地と鑛業所間一哩半の運轉に當る。

(八) 自動車

省線宇部驛との間は殆ど宇部鐵道を以つて、連絡して居たが、近年自動車の普及と相俟つて宇部市宇部驛間に自動車の定期線營業が開始さるゝに至り、次いで市内乗合、小野田線の營業となり、貸切車の利用にも刺激せられて逐年著しく自動車の數を増すに至つた。道路の整備に伴ふ貨物車の運轉にも相當の進展振りを見せ、鮮魚の輸送を専らとする下關及仙崎線、雜貨の輸送に當る阿知須線はその主なるもので現在相當の收益を擧げて居る。

(二) 海運

宇部港は海運關係業者には新川港(宇部新川港)として知られて居る。大阪商船及び尼ヶ崎汽船の定期航路中國線の要港で



大阪行は

尼ヶ崎汽船 毎日午後五時半に  
大阪商船 毎日午後六時半に

下關行は

尼ヶ崎汽船 共に  
大阪商船 毎日午前四時頃に

夫々出帆する。

最近年間に於ける移出入貨物の總噸數は二百萬噸を突破し、内石炭の移出のみにて百四十萬噸を超えるに至つた。宇部元山炭の移出には沖之山炭鑛所有船沖の山丸(一五〇〇噸)や其他社外船を定期に備船して就航させ、帆船によるものと相俟つて遠く横濱、東海、京阪地方へ盛に輸送される。

### (木) 港 灣

本市の諸施設には沖の山炭鑛の計劃に俟つたもの多く、上水道の敷設と築港計劃とはその主たるものである。

沖の山炭鑛は本市の海陸連絡施設を完成する爲め單獨にて大正十四年築港事業の計劃に着手

し總工費豫算額三百萬圓を計上し昭和六年には完成の豫定を以つて目下工事の進捗に努めつゝあるが、本築港竣成後の宇部港は中國に於ける有數の貿易港として將來を期待するに充分で、今その概要を掲ぐれば次の通りである。

總工事費	三百萬圓
港内面積	約四十二萬坪
防波堤延長	九百六十間
棧橋	四百五十間
埋立	二十五萬坪
港内及航路浚渫	十五萬坪
出入船舶	三千噸級以下
修繕船舶渠	千噸級以下
道路	幹線 幅員十二間 補助線 副員八間
鐵道	一哩半 延長八百間 延長千間



(イ) 主なる官公署其他

宇部市役所	〔東區常盤通〕	宇部警察署	〔市區常盤通〕
下關水上警察署	〔東區海岸通〕	宇部郵便局	〔西區上町〕
宇部派出所	〔東區海岸通〕	岬郵便局	〔八王子〕
東郵便局	〔東區錦橋通〕	寺ノ前郵便局	〔寺ノ前〕
西區海岸通郵便局	〔西區海岸通〕	宇部鑛業組合	〔西區朝日町〕
宇部商工會	〔西區朝日町〕	宇部市畜産組合	〔市役所内〕
宇部市農會	〔寺ノ前〕	宇部漁業組合	〔東區本町〕
宇部水産會	〔西區朝日町〕	宇部市農會	〔東區本町〕
有限責任信用販賣	〔寺ノ前〕	農産物販賣幹施所	〔東區海岸通〕
購買利用組合	〔東區常藤〕	新川魚市場	
宇部産業組合			
宇部農業倉庫			

岬魚市場	〔八王寺〕	綠橋公設市場	〔西區朝日町〕
公證人役場	〔東區本町〕	宇部新川驛	〔西區新川驛通〕
東新川驛	〔東區東新川驛通〕	宇部岬驛	〔東區岬驛通〕

(ロ) 宇部共同義會

公益事業団体として明治十九年五月に創立、大正二年十月財團法人に改め、益々公益事業に盡瘁、現在の宇部中學校、宇部工業學校等は同會の設立に係るもので、市基本財産に、小學校建築費に、通信機關、交通機關の整備に、救済に、恤兵に、軍人優待に、官公衛の設置に等々、其都度莫大の補助をなして、公益事業に盡したることは枚舉に遑がない。

昭和四年三月末資産は尙一八七、六一八圓を保有し、役員には會長一名、副會長一名、理事十三名、監事二名、評議員四十五名を舉げ四年毎にその半数を改選する、現在宇部市内を五區に分ち各選舉人の數を定めて、評議員を選舉し、評議員の互選に依つて理事及監事を定める、現在の役員は市内の有力者である。



會長理事 渡邊祐策  
 理事 紀藤閑之介  
 全 藤本閑作  
 全 高良宗七  
 全 藤田一  
 全 眞宅正  
 全 西村右  
 監事 國吉信義

副會長 紀藤織文  
 常務理事 林仙輔  
 理事 庄晉太郎  
 全 牧三平治  
 全 藤田權九郎  
 全 新川元右衛門  
 監事 上郷與吉

(八) 學校

縣立宇部工業學校〔樋ノ口〕 縣立宇部中學校〔寺ノ前〕  
 私立長門工業學校〔西區海岸通〕 市立宇部商業實踐學校〔琴芝〕  
 市立宇部農業實踐學校〔寺ノ前〕 私立宇部經理學校〔東區岬通〕  
 縣立宇部高等女學校〔神原〕 市立宇部實踐女學校〔寺ノ前〕  
 私立宇部高等技藝女學校〔琴芝〕 宇部尋常高等小學校〔寺ノ前〕

新川尋常高等小學校〔西區松濱町〕  
 岬尋常高等小學校〔東區明神町〕  
 博愛幼稚園〔西區上町〕  
 沖ノ山保育園〔沖ノ山〕

神原尋常高等小學校〔神原〕  
 沖ノ山尋常高等小學校〔沖ノ山〕  
 西覺寺幼稚園〔東區笹山通〕

(三) 新聞

當市に本社を有する日刊新聞に

宇部時報社、(東區常盤通) 宇部日々新聞社、(東區松ヶ枝町)の二があり。  
 大阪毎日新聞、大阪朝日新聞、大阪時事新報、關門日々新聞、馬關毎日新聞、關門報知新聞、防長新聞、中國新聞、福岡日々新聞、九州日報  
 其他は各々支局、通信部又は駐在員を置いて通信報道の迅速を圖り活躍してゐる。

(木) スポーツと娛樂場

今上陛下 東宮に在らせられし際の本市行啓記念事業の一として設けられた神原公園は廣



表一萬坪其の中に約六千坪のグラウンドが設けられ、野球に、陸上競技に共に利用せられて居る、尙ゴルフ場及競馬場設置の議が盛んで遠からず實現する見込みである。劇場には新川座、見初座があり、常設活動寫眞館に山陽館、衆樂館、記念館、昭榮館がある。

### (へ) 名 所 社 寺

常盤池(常盤公園)に就いては前にその大体を記したから省略するが、池中に小島があり祠を建て、龍田大明神を祀る、俗には是れを新宮と稱へる、實に水光碧澄四邊の綠樹と相映發する風景の美は、中國に名高いもので、近頃になつて拓いた公園には四時殆ど遊覽客を絶つことがない。殊にさくら山の櫻は近郊にも珍らしく、非常な人出を誘ふ。尙四季を通じて池畔に料亭の設備があり、行樂の便を與へてゐる。

むべにまかりける時常盤堤にて

錦 小 路 郷

名にしおふ常盤堤の小松原むべ千代經へき色ぞ見ぬける

福 原 元 佃 公

朝夕に潮の満干のなき海をうべ常盤ともいふべかりける

神原公園 行啓記念公園である。園内に維新の人傑福原越後公の銅像を建設し、瓢箪池、花壇、植樹に行樂の氣を喚り、園内大部分の地域を占めて居るグラウンドは一層運動熱を醸成する。

琴崎八幡宮 祭神に應神天皇の神靈を祀る。永和年間僧性禪等が西の宮より今の地に遷してから約五百七十年、爾後永祿九年、元祿十年、明治三十四年の修築改築を経て、現在に及び全市の氏神として市民いやが上にも尊崇する、毎年十月中旬大祭を行ひ商工會主催の玉替行事が催される。

中津瀬神社 市街地の中央にあり、祭神に倉稻魂命、瀬織津姫命、市杵島命、少彦名命及八王子を祀る。毎年五月四日、五日、六日大祭を行ひ商工會主催の馬替行事が人氣を呼ぶ。

維新招魂社 小串の崩山麓に在る。福原元佃公を首め福原家祖先及國事に忠死した者の靈を祀る、例祭は九月二十八日、競馬其他の餘興でかなりの賑ひを見せる。

神社にはこの外見初崎神社、比枝神社、梶返天満宮、鶴島大明神、末富社、新宮、大藏大明神がある。



松江山宗隣寺 小串にあり、本尊は無量壽佛及如意輪觀世音である。福原氏の廟所で林丘を負ひ、田畝を望み、境地幽閑、清淨の氣人に迫る、寛文十年の創建に係る。

松絃山教念寺 本尊を一尺八寸の阿彌陀佛とし、文明十三年の創立、文政八年改築したもので、寺域の廣濶なること及び堂宇の宏壯なることは市内第一である。

竹林山松月院 三尺七寸の阿彌陀如來を本尊とし、別に鎮守堂があつて一尺三寸の文珠菩薩を安置して居る、鎌倉時代に五臺山文珠院があり、今の松月院は其跡に建て、文化元年改築したものだと言はるゝ。今の三縁山増上寺大僧正道重信教師の出られたのはこの寺である。

其他信行寺、覺法寺、光善寺、淨圓寺、法興寺、圓滿寺、三徳寺、西覺寺、照法院、金光教分教所、天理教宣教所がある。

### 郷土歌

#### イ、宇部の誇り

△宇部の誇りはノーエ

炭の都でノーエ

海底炭坑  
福原越後の

維新の人傑  
出たところ

△まだく誇りはノーエ  
戮力一致  
共同義會に

市憲五則でノーエ  
質實剛健  
達聰會

### ロ、南蠻歌

○南蠻押せく押しやこそ廻るナーヨ

押さで廻るはヤーレ風車

○やまが勇めば端取までもナーヨ

聲のかけ様のヤーレ程のよき

○様は一番わしや二番方よナーヨ

上り下りでヤーレ見るばかり

○朝ま早うからカンテラ提げてナーヨ

坑内下るもヤーレ國の爲

○南蠻押しには何處が好うて惚れたナーヨ

胸は鳩胸ヤーレ尻うや出尻。



# “宇部”

品質第一  
奉仕第一



山口縣宇部市  
宇部セメント製造株式会社

電話一般

營業部

大阪出張所

東京出張所

大阪北區中津江島ビルディング 東京麹町有樂町三交路

電話本局

電話社内

綿布  
足袋  
雜貨

卸問屋

宇部藤谷支店

藤谷次郎

電話五二四番  
振替下關八九八番

アサヒ地下タビ代理店  
福助足袋代理店  
福印タオル代理店  
スキーメリヤス代理店  
ハタオリ印調進  
宇部市常磐通



# 株式會社

取締役社長

渡邊 祐策

專務取締役

俵 田 明

常務取締役

同 取締役

同 同

同 同

同 監查役

同 同

名和 濱川 高良 新川 西野 金野 村上 笠井 入江 上郷 名和 田哲 濱川 良久 高良 宗工 新川 元右 西野 嘉四 金野 義藤 村上 井良 入江 護一 上郷 與正

# 沖山炭鑛

本社 山口縣宇部市

營業部 電話 三六八五番 二二六番  
電話 三五五番 一五〇番

東京出張所 東京市京橋區南飯田町一番地

電話 東京 一六七六・一八二番

大阪出張所 大阪市港區安治川通三丁目

電話 西 二九五四番

名古屋出張所 名古屋市中區東川端町五丁目

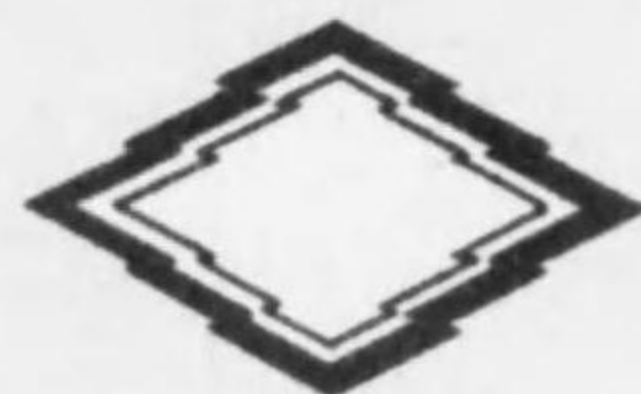
電話 東 三三〇八番

高松出張所 高松市驛前

電話 一三八四番



商  
工  
人  
名  
錄



大倉鑛業  
株式會社

沖見初炭礦事務所

本社 東京市京橋區銀座二丁目七番地  
大阪出張所 大阪中港區南安治川通二丁目十番地

宇部市 岬  
電話 二一三番



商工人名錄目次

第一部

◆食料品

精米、米麥、雜穀	.....	一
果實、蔬菜	.....	六
鮮、鹽、干魚、尾羽毛	.....	八
蒲、銚、竹、輪	.....	〇
砂糖、麥粉	.....	一
乾物、罐詰、麵類、海草	.....	一
養、鷄、鷄、卵	.....	四
牛肉、鷄肉、豚肉	.....	四
牛乳、玄米乳	.....	五
醬油、味噌、酢、麴	.....	五
漬物	.....	八

第二部

◆嗜好品

水、水器具	.....	一九
其他食料品	.....	一九

酒類	.....	二一
清涼飲料水	.....	二六
菓子、パン、餡、餅、煎豆	.....	二七
茶、(茶器)	.....	三一
煙草	.....	三二

日用品	.....	三四
-----	-------	----

第三部



被服類

吳服、太物……………三九  
 洋服、作業服、雨具……………四二  
 足袋、メリヤス、タオル、仕立……………四三  
 綿糸、糸類、蚊帳、蒲團……………四五  
 染物、洗濯……………四六  
 古着……………四六

裝身具、履物

洋品、雜貨……………四七  
 小間物、化粧品……………五〇  
 時計、眼鏡、貴金屬……………五二  
 靴……………五四  
 履物……………五四

學用品、娛樂品

書籍、雜誌、繪葉書……………五七

紙、文具、學用品……………五八  
 樂器、運動具、玩具、手藝材料……………五九  
 寫真、寫真器……………六一  
 書畫、骨董、古道具……………六一  
 生花材料、植木……………六二

第四部

土木建築工作材料

材木、坑木、製材……………六三  
 左官、石工並ニ建築材料……………六六  
 土木、建築請負、製圖……………六七

竹木製品

家具、漆器……………六九  
 建具、建具材料、表具……………七〇  
 魚函、紙箱、樽、籐細工……………七一

傘、提灯、團扇……………七二  
 荒物、燐寸……………七三  
 石鹼、製造……………七四  
 疊、疊表、吳産……………七四  
 陶磁器……………七五  
 硝子、硝子製品……………七六  
 神具、佛具、葬具……………七六  
 印刷……………七七  
 印刷、看板製作……………七八  
 空罐、空樽、空壺、屑物……………七九  
 肥料……………七九  
 種子……………八〇

第五部

金物、機械、器具、造船

金物……………八一

鐵力細工……………八三  
 船具、漁具……………八三  
 造船……………八四  
 機械、器具、炭鑽用品……………八四  
 電氣、瓦斯器具及工事……………八五  
 鐵工、鍛冶……………八六

度量衡器……………八七  
 農具……………八八  
 自轉車、自動車、車輛……………八八  
 塗料……………九〇

燃料油類

石炭、コークス……………九〇  
 薪炭、煉炭……………九三  
 油類、カーバイト……………九四  
 銃器、火藥……………九四



第一 部 食 料 品

⊕ 藥種、賣藥、醫療器械……………九五

第六 部

⊕ 金 融

銀 行……………九七

質屋、金錢貸付……………九七

⊕ 有價証券賣買……………九九

⊕ 保 險……………一〇〇

⊕ 運輸、交通、倉庫……………一〇二

⊕ 雜 業……………一〇四

⊕ 旅 館……………一〇六

⊕ 料理、貸座敷、置屋……………一〇七



内外雜穀問屋  
並ニ和洋酒類精米業

本店 倉重仁輔

宇部市東區見初町

電話八〇二番  
電報(クラ)又ハニ

電話七七一番

支店

第一 見初市場  
第二 岬通市場

大和清酢釀造販賣部

釀造部 第三 見初町



食料品

△精米、米麥、雜穀

營業種別	商号及ビ振替口座	電話	住所	氏名
穀類、糖粉卸小賣、精米		二八二	東區綠橋通	岡田謙輔
雜穀、精米			同	山田教助
雜穀、精米			同	永原幸助
米雜穀、仲買、肥料			同常盤通五丁目	西田平一郎
精米、化粧品、香油			同	眞鍋繁三郎
米雜穀、荒物			同錦橋通	原野好太郎
精米、質			同岬通四丁目	濱岡武道
精米、雜穀			同岬通	橫山坂松
精米、雜穀、木炭			同岬通	藤村松吉
精米、類、糖粉			同幸町通	久保田常助



















干海老製造  
鮮魚仲買  
鮮魚仲買  
干海老製造、車海老買  
鮮魚仲買  
鮮魚仲買  
干海考製造、車海老買  
尾鮮羽毛魚

△蒲鉾、竹輪

蒲鉾、竹輪製造  
竹輪製造  
蒲鉾、竹輪製造

三八七	東區常盤通	泉川瀧治
四三六	同本町	大川安太郎
同	東區松ヶ枝町	柳谷榮三
同	小串	關野幸太郎
同	同	上條清太郎
同	同	栗屋才藏
同	同	福永清助
同	同	松崎太一
同	同	松田長藏
同	同	高橋增太郎
同	同	落合福太郎
八王子	橋本直久	

蒲鉾製造  
蒲鉾製造  
竹輪

△砂糖、麥粉

砂糖、粉類、雜穀卸小賣  
砂糖、粉類、雜穀卸小賣  
砂糖、粉類、雜穀卸小賣  
砂糖、粉類、雜穀卸小賣  
砂糖、粉類、雜穀卸小賣  
砂糖、粉類、荒物、乾物

罐詰、食料品、菓子製販  
乾物、酒類、青果

△乾物、罐詰、麵類、海草

三三二	東區本町	光永金助
四四五	同明治町	岡田應義
同	同海岸通	岩井松藏
二八二	東區綠橋通	岡田謙輔
九三	同本町	藤本庄之進
二六一	同	藤本國四郎
三三〇	西區北町	伊藤藤祐一郎
七〇一	同	栗屋万作
二三七	同	上野忠次
四五三	東區常盤通	大田正雄
同	同	岡本正一



乾物、罐詰、日用品青果  
 乾物、青果、日用品  
 乾物罐詰荒物左官材料  
 各種昆布、昆布加工  
 乾物、罐詰、日用食料品  
 乾物、青果、日用品  
 乾物、罐詰、荒物卸小賣  
 乾物、罐詰、青果食料品  
 乾物、罐詰、青果食料品  
 乾物、罐詰、荒物卸小賣  
 乾物、罐詰、荒物卸小賣  
 乾物、罐詰、青果食料品  
 乾物、罐詰、青果食料品  
 麵類製造販賣  
 乾物、荒物、日用品

マルサン  
ヤマス

三三九  
四二五  
三二三  
一九七  
五五八  
三二八

東區常盤通  
 同 田口久一  
 同 田中留吉  
 同 松本三手藏  
 同 福井德左衛門  
 同 大關坂二郎  
 同 芝尾恒助  
 同 大上才助  
 同 廣田種吉  
 同 末繁與一  
 同 大田信市  
 同 竹中義勇  
 同 山田泰一  
 同 吉武道助  
 同 穗村峯雄  
 同 明神町

麵類製造販賣  
 乾物、罐詰、青果日用品  
 乾物、青果、日用品  
 乾物、青果、日用品  
 乾物、荒物、米、雜穀  
 麵類製造卸  
 乾物、荒物、日用品  
 罐詰、食料品、和洋酒類  
 乾物、日用品、木炭  
 罐詰、食料品、酒類  
 乾物、罐詰、青果日用品  
 麵類製造販賣  
 乾物、青果、日用品カーバイト  
 乾物、荒物、日用品

下關五六九六

七〇二  
三七九  
二三七  
二八一  
三七〇  
六一二

西區北町  
 同 大西安一  
 同 藤島健助  
 同 國平富太郎  
 同 村上昌一  
 同 上野忠次  
 同 今川幸二郎  
 同 田中爲吉  
 同 增重喜内  
 同 龜尾正七  
 同 岡崎正一  
 同 藤井幾太郎  
 同 長谷川榮助  
 同 吉國繁造  
 同 藤本晋八



麵類、料理  
乾物、荒物、日用品  
罐詰、酒類、醬油日用品

四一九 西區舊驛通  
八王子  
恩田

金子儀一  
岩脇友右衛門  
藤江久人

△養鶏、鶏卵

鶏卵卸問屋  
養鶏、鶏、鶏卵  
養鶏、鶏卵、日用品

七六七  
東區水神町  
西區港町  
鎌田

岡田淺勝  
岡本孫四郎  
廣本豐一  
秋田

△牛肉、鶏肉、豚肉

牛肉、鶏肉、豚肉、莫座  
牛肉、鶏肉、豚肉  
牛肉、鶏肉、豚肉  
牛肉、鶏肉、豚肉  
牛肉、鶏肉、豚肉  
牛肉、鶏肉、豚肉

博多屋  
九五  
四二三  
二一〇  
五三九  
東區綠橋通  
同榮町  
同柳町  
同  
西區北町

中村友弼  
安藤實三郎  
村崎又三郎  
池田伊三郎  
富賀見コフジ

牛肉、鶏肉、豚肉  
牛肉、鶏肉、豚肉  
牛肉、鶏肉、豚肉  
牛肉、鶏肉、豚肉冷蔵庫

五一七 西區北町  
四〇 同  
一六九 同本町

山本ツイ  
山下長藏  
中山鶴吉  
中村

牛乳、陶器  
牛乳  
牛乳

一七八 東區琴芝通  
二六六 西區松濱町  
朝日町

江本和藏  
江本和藏  
江本和藏  
江本和藏

△醬油、味噌、酢、麴

味噌製造  
味噌製造  
味噌製造  
醬油、酒類、卸小賣  
醬油、味噌、酢、卸

七四八 東區綠橋通  
同錦橋通  
同  
同  
同神原通

今井梅吉  
奧田壺市  
仁井熊太郎  
渡邊孫三郎  
富永吉春







醬油、味噌釀造  
 醬油、味噌釀造  
 醬油釀造  
 醬油釀造  
 醬油釀造

大和商會

三〇六

八王子  
 寺ノ前  
 同  
 草江  
 同

富田保一  
 旭將油釀造株式會社  
 桑原熊雄  
 磯邊啓作  
 橋本万吉

△漬物

高等漬物、茶、日用品  
 高等漬物、佃煮  
 高等漬物、珍品食料品  
 澤庵、其他漬物  
 漬物、食料品加工  
 漬物製造販賣、日用品  
 漬物製造販賣

山一

東區錦橋通  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同

今井總治  
 鈴木孝一  
 財滿謙九郎  
 安達謙九郎  
 財滿謙九郎  
 國平安太郎  
 久芳孫一

漬物類  
 漬物類  
 澤庵、日用品、質類

西區新町  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同

桑原重吉  
 黒川亀市  
 中村菊衛  
 中村菊衛

△氷、氷器具

製氷、冷蔵庫、鮮魚  
 氷、土管、セメント、運送  
 氷卸  
 冷蔵庫、肉類  
 冷蔵庫、金庫、自轉車

二一六

一八

一六九

七二五

東區榮町  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同  
 同

松原利助  
 山田清吉  
 狹間良雄  
 中村鶴吉  
 淺里登作

△其他食料品

豆腐、雜貨  
 珍品加工食料品  
 加工食料品、漬物

東區常盤通

原田孝一  
 財滿孝一  
 鈴木孝一  
 同  
 同













































和洋酒類卸商  
軒焼酎發賣元



美 鷺 見 酒 舖

特約品主目

銘酒 公爵  
サクラビール  
ケリヤサイダー  
旭波燻油

山口縣宇新市治町二  
電話 二五二番  
振替口座下関七五七五番

營業課目

 醬油發賣元  
 大日本 燒酎特約店  
 大阪 造酢株式會社特約店  
 三ツ星 甘露醬油特約店  
 丸米 精酢發賣元  
 銘酒 若山特約店  
 サクラビール特約店  
 大阪 松田製果實蜜特約店  
 熊本 松田製果實蜜特約店  
 其他 洋酒飲料水類卸

宇部市西新町  
水野纏商店

電話 三五四番  
振替口座關四貳壹六番





宇部紡績株式会社

本社 山口縣宇部市  
出張所 大阪市東區伏見町五丁目

鐵材銅眞鍮地金

宇部市榮町

内田金物店

電話長二一番

機械附屬品



第三部

被服類  
 裝身具、履物  
 學用品、娛樂品

うまい酒



萬人向乃酒

釀造石數二千五百石

優等銘酒

男山

宇部市西區中町

永山酒造場

永山憲一郎

電話七〇番

各埠釀造場

山口縣三秋郡三保邊村  
 永山酒場

山口縣厚狭町  
 永山酒場

電話四二番



和洋紙卸問屋

◎大空和洋紙店

宇部市西區新町  
電話長二六八番  
振替下關三三五三番

被服類

綿布、綿類	吳服、太物	吳服、太物	吳服、太物	新調衣	吳服、太物	吳服、太物	新調衣	吳服、太物	半衿類	吳服、太物
部坂佐吳服店	部坂房吳服店	京都屋	久留米屋	ヒシヤ	大阪屋					
三二四	四一		四五四	二〇九	三九二					
東區綠橋通	同常盤通	同	同	同	同	同	同	同	同	同
伊藤英策	藤新七	坂房之助	高橋茂生	野口繁太郎	清水平太郎	白井篤一	廣永爲藏	和田積藏	花田勝	橋勝撰



吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳  
 服、服、服、服、服、服、服、服、服、服、服、服、服、服、  
 雜 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太 太  
 貨 物 物 物 物 物 器 着 着 ン 物 物 貨 物 物

くまや  
 ふじや

呼出六六六  
 一三五

四六一  
 六四一  
 一一〇  
 五〇六  
 三〇八

西 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同  
 區 新 本 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町  
 北 新 本 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町

中 赤 合 猪 合 赤 中  
 川 松 名 熊 資 松 川  
 多 選 會 茂 會 選 多  
 六 次 社 樹 社 次 六  
 原 村 松 奧 神 細 內 西 藤 合 猪 合 赤 中  
 田 上 井 村 元 川 海 田 田 資 熊 名 松 川  
 仁 梅 榮 宇 宗 川 照 マ ッ ノ 田 會 熊 會 選 川  
 郎 一 吉 一 進 郎 一 ノ 郎 店 樹 店 次 郎 六

吳 吳 新 綿 吳 吳 新 綿 吳 吳 吳 吳 吳 吳 吳  
 服、服、古 布、服、服、古 布、服、服、服、服、服、服、  
 太 太 衣 物 太 太 衣 太 太 太 太 太 太 太 太  
 物 物 服 立 物 物 服 立 物 服 物 物 物 物

下圖五九二三

六六九

一七七

同 同 西 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 東  
 新 區 明 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 區  
 町 上 治 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 錦  
 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 町 橋  
 通 通 通 通 通 通 通 通 通 通 通 通

安 吉 藤 寄 松 小 古 田 平 坂 藤 江 山 中  
 井 田 堂 森 本 林 林 中 田 口 村 本 本 村  
 剛 謙 祐 イ 佐 藤 喜 淺 彦 石 祐 豐 文  
 一 郎 郎 ツ 助 助 七 吉 郎 サ 郎 一 作 進











綿類、莫蔭、石炭

△染物、洗濯

一五二

西區本町

矢野政太郎

京染悉皆、染工場

染色、上繪

染色、上繪、京染悉皆

洗濯、洗張

洗濯、洗張

旗、幕、幟、紋上繪

〔赤のれん  
下關五九二三〕

三二一

東區常盤通  
同琴芝通  
同柳北町

厚見川  
津川  
馬越友  
伊藤為三郎  
齋藤萬太郎  
池邊儀成

△古着

新古衣服、煙草  
古着、煙草  
古着、煙草  
古着、煙草  
新古衣服、煙草

七三九

東區  
同大正町  
同宮地町

坂口喜七  
古林喜七  
品川貫次

新古衣服、煙草  
古着、煙草  
古着、煙草  
古着、煙草  
新古衣服、煙草

下關五九二三

西區上町  
同木町  
同海岸通

藤堂祐太郎  
吉澤ハツ豊  
山田ハツ  
内海照一  
西田マツノ

◆装身具、履物

△洋品、雜貨

一〇八

洋品、雜貨、著音器、寫真器  
雜貨、煙草  
雜貨、化粧品、小間物  
洋品、雜貨  
洋品、雜貨  
和洋雜貨

小松屋百貨店

東區常盤通  
同松枝町  
同錦橋通  
同  
同  
同

小笠顯吉  
櫻田リカ  
榎木アイ  
山縣勝三郎  
山田清一郎  
西村ハル































# 第四部

土木建築工作材料  
 竹子、木製、品  
 荒物、磷寸  
 石、鹼、製、造  
 疊、疊、表、莫、產  
 陶磁器  
 硝子、硝子製品  
 神具、佛具、葬具  
 印刷  
 印刷、看板製作  
 空罐、空樽、空壘、屑物  
 肥料  
 種子

書畫、骨董、文具、印刷  
 書畫、骨董、玩具、裝飾材料  
 古道具、看板  
 古道具、漆器、看板  
 古物、書畫、骨董  
 書畫、骨董、煙草  
 書畫、骨董、古道具

健長堂  
小櫻

一七五

三三三

## △生花材料、植木

植木、種物、金物  
 生花材料、植木  
 植木

東區常盤通  
 同錦橋通  
 同宮地町  
 同參宮道路

黑田 宇三郎  
 勝山 喜久太郎  
 井上 榮太郎  
 清水 源二郎

東區常盤通  
 同錦橋通  
 同明治町  
 同琴芝通  
 西區新町  
 同木町

川口 義祐  
 岸田 判之丞  
 山口 末一  
 佐伯 源次郎  
 石田 助一  
 安田 毅一  
 野中 安治



材材材材材材材材材材

木、坑、燒  
木、坑、製  
物、化粧

材材材材材材材材材材

東角材木店  
丸三

七四九  
一〇  
長二  
二一九  
七四九  
四〇七  
五〇七

東區綠橋通  
同 同 同 同 同 同 同 同 同  
同 同 同 同 同 同 同 同  
同 同 同 同 同 同 同 同  
同 同 同 同 同 同 同 同

東條武 德忠 佐恭 松正 東條 內山 正司 德澤 山村 古林  
東條武 德忠 佐恭 松正 東條 內山 正司 德澤 山村 古林  
東條武 德忠 佐恭 松正 東條 內山 正司 德澤 山村 古林  
東條武 德忠 佐恭 松正 東條 內山 正司 德澤 山村 古林

土木、建築、工作材料

△材木、坑木、製材

和洋家具  
日用金物  
卸小賣商  
荒物一切

虎印酢乃素  
並ニ清酢  
發賣元

宇部市西區新町一丁目

中谷祥一

電話四五六番















家具製造販賣  
家具製造販賣  
家具、陶器  
漆器、古物、看板  
和洋家具  
家具、荒物、金物  
漆器、小間物、化粧品  
家具、箆筒、建具  
漆器、家具、古道具

小樓

大阪四二四五八

四五六  
三五六

東區本町  
同明治町  
同西區北町  
同新北町  
同寺北町  
同本町

橫井 望一  
吉田 伊佐太  
原田 萬吉  
佐伯 源次郎  
西村 鶴次  
中谷 祥一  
渡邊 彌右衛門  
長井 忠平  
野中 安治

〔70〕

表具  
建具、表具、同材料  
表具

二八六

東區綠橋通  
同常盤通

八木 愛二郎  
花田 新二郎  
伊藤 信枝

△建具、建具材料、表具

建具製造販賣  
建具家具製造販賣  
建具製造販賣  
佛表具、京表具  
建具、板硝子  
表具  
建具製造販賣  
表具  
表具  
建具、硝子、雜貨  
表具

松月堂

一六六

五四七  
五五九

東區常盤通  
同岬通  
同明治町  
同水神町  
同琴芝通  
同西區本町  
同海岸通  
同助田  
同同  
同同  
同同

小田 喜太郎  
渡邊 勘一  
鈴野 喜代保  
西條 孝作  
釋野 孝嶺  
武重 通利  
平山 精二  
末廣 利兵衛  
林川 繁雄  
堀川 安一  
吉本 彌作  
谷口 高次郎  
正木 定吉

〔71〕

△魚函、紙箱、樽、籐細工



支那靴製造販賣  
桶類製造、金物  
麻袋製造  
紙箱製造  
樽材製材  
藤製品、料  
折箱製  
紙函紙類  
セメント容器製造製材

宇部麻袋商會

藤の家

一二九  
六四七  
一五八  
六三三  
二四八

東區綠橋通  
同錦橋通  
同本町  
同西區驛前  
同同上町  
同相生町  
同本町  
同沖ノ山

長井繁太郎  
木村  
岡村猛二  
宮田廣吉  
青木幹次  
繩田德太郎  
足立彌吉  
藤原源之丞  
西沖ノ山製材株式會社

〔72〕

雨傘、提灯  
團扇カレンダ―  
雨傘、提灯

中谷支店

△傘、提灯、團扇

東區錦橋通  
同  
同岬通

藤本健一  
淺田一精  
今山三市

雨傘、提灯  
雨傘、提灯、看板  
雨傘、提灯

□荒物、燐寸

荒物、燐寸、薪炭  
荒物、燐寸、罐詰卸小賣  
荒物、燐寸、乾物卸小賣  
荒物、日用品  
荒物、燐寸、金物、家具  
荒物、日用品  
荒物、燐寸、罐詰卸  
荒物、燐寸、罐詰卸小賣

三七六  
三三九

四五六

五五八

東區常盤通  
同岬通  
同明神町  
同西區新町  
同本町  
東區本町  
同岬通

山本良祐  
松本三手藏  
竹中義勇  
穂村峰雄  
中谷祥一  
後藤幸太郎  
大上才助  
大田信市

〔73〕

東區本町  
西區上町  
同新町  
同朝日町

甲村次郎  
古賀建市郎  
後藤龜松  
藤田多一







陶磁器  
博多燒七輪、日用品  
陶磁器、牛乳

硝子、硝子製品

硝子製品、電氣器具  
硝子、硝子器具  
硝子、古金、屑間屋  
硝子、硝子器具  
硝子器具、茶  
硝子類、建具

神具、佛具、葬具

佛壇、佛具

西區新町 森次  
同本町 永萬  
同朝日町 高柳  
東區琴芝通 山下長藏

五二一 東區錦橋通 林正夫

六一三 同明治町 岡本正

三七 西區新川 川口嘉次郎

同助田 吉安氏毅作

東區常盤通 柳瀬俊一

佛壇、佛具  
葬具、生花、造花  
佛壇、佛具  
葬具

刷

活版、石版印刷、和洋式帳簿  
活版印刷  
活版印刷  
活版印刷  
活版印刷

自動印刷所

山中印刷所  
下關一六〇二  
蛭子印刷所

三六〇

東區錦橋通 田邊多美佐  
同明治町 櫻野金助  
西區上町 河野金助  
同本町 高橋吾輔  
同三炭町 青木新一

五一八〇

東區松枝町 高木勇藏  
同錦橋通 田村和一  
同本町 村上岩一  
同 村上達太

三四一

同水神町 佐花定良  
同 同 金谷九一  
同 同 增野

三八四







回種子物

種子物、菓子  
種子物、植木、金物

東區線橋通 原田  
同常盤通 黒田宇三郎

宇部名勝 常盤池 (俚謡)

花の常盤の又の名聞けば宇部の吉野と讀みかへる  
花の常盤に茶店をヒラキ様と黒岩して見たや  
浮いて來そな新宮様よ九十九エゴの霞む中  
炭の都に櫻の名所宇部の常盤を見にござれ  
袂引かすは老松町よ杖は常盤の花に曳く  
草家背負ふて新宮抱いて常盤公園花の中  
花の常盤湖廻れば三里周防と長門の國ざかい  
花のついでに南蠻茶屋寄つて昔話を聞くがよい



宇部市東區神原町

山陽綿株式會社宇部工場

長電話二〇一番

本社 福山市松濱町



岡石印版  
 和洋式  
 帳簿

宇部市東區本町三丁目

# 山中印刷所

電話三四一番

サクラビール



ミヨシノレモン・ミヨシノサイダー

宇部市特約店

鷺見酒舗  
 永山酒場  
 中司酒店  
 水野商店



# 新沖山炭礦

鑛業所 山口縣小野田野田波瀨寄  
販賣所 宇部市西區海岸通

頭取 渡邊祐策  
事務長 磯邊啓作

採鑛部

技術管理者 岩澤嘉吉  
保安係主任 西村竹一  
島本久吉  
西田壽吉

機械係 中村常義  
藤本秀隆

運搬係 桂良史  
有木 豊

經理部

庶務係 安平正一  
藤原善七郎

用度係 村谷新一郎  
磯新清次

倉庫係 田坂靜治  
國野保太郎

販賣部

人事係 田村辰藏  
國野保太郎

此切方 大石常一  
藤崎面吉  
平川悦吉

## 第五部

金物、機械、器具、造船  
度量衡器  
農具  
自轉車、自動車、車輛  
塗料  
燃料  
銃器  
藥種、賣藥、醫療器械











船舶用品、炭鑛用品  
釣道具、茶  
船舶用品、製帆  
船舶用品、製帆、運送

下關九六九

二三 東區海岸通  
七〇九 西區本町  
呼出三〇二 同  
七二七 同朝日町

株式會社榭谷商會支店  
伊藤才二郎  
峰石謙藏  
株式會社元山商會

△造船

造船業  
造船業  
造船業  
造船業  
造船業  
造船業

三五八 東區海岸通  
同東見初  
西區助田  
同  
八王子

穂積金三郎  
永尾利一  
本田利一  
眞鍋直八  
橋本春次

△機械、器具、炭鑛用品

重油發動機關專門製作  
機械金物炭鑛船舶用品

四三八 東區海岸通  
二三 同

合名會社秋重內燃機製作所  
株式會社榭谷商會支店

機械金物炭鑛用品製炭  
疊製造機械、煉炭機械  
煎餅型製作  
ヤスリ製作  
新古機械、汽罐賣買  
機械工具、電氣器具  
機械工具設計監督請負  
鋸製作  
金庫、貯米器、機械修理  
炭鑛船舶用品、運送

下關七五七六  
勉強屋  
型甚  
義士金庫店  
下關九六九

六三三 東區榮町  
三一六 同宮地町  
同東驛通  
同  
同恩田通  
同常盤通  
西區上町  
同  
同  
同朝日町

合名會社內田金物店  
松井浩  
原田甚一  
松田亮一  
湊江林吾  
藤江林吾  
宇部商事株式會社  
藤岡竹松  
淺里登作  
株式會社元山商會

△電氣、瓦斯、器具、及工事

電氣器具機械、照明設備、設計  
電氣器具、硝子

七五六 東區常盤通  
五二一 同錦橋通

藤江林吾  
林正夫



電氣器具機械、坑 木  
 ラジオ器具、修理工作  
 ラジオ器具、修理工作  
 電氣器具、同工事請負  
 ラジオ器具、修理工作  
 電氣器具、同工事請負  
 電氣機械販賣、工事

下關一〇八一四  
 丸鶴工業合資會社出張所

五〇九一  
 呼出二七

△鐵工、鍛冶

製 製  
 製罐、鐵工、カーバイト  
 鐵工、鑄物  
 鐵工、鑄物  
 鐵工、鑄物  
 鐵工、内燃機關製作

三二五  
 一〇九

西區上町  
 同北町  
 同新町  
 同朝日町  
 同新川座通  
 西區港町

宇部商事株式會社  
 生田誠治  
 大榎秋正  
 武重賢祐  
 元吉越雄  
 日名讀太郎  
 宇部電業社

三九一  
 四二九  
 四三八

東區綠橋通  
 同岬通  
 同明治町  
 同見初町  
 同海岸通

辛藤繁藏  
 金本萬二郎  
 北村鐵平  
 長谷川保  
 合名會社秋重内燃機關製作所

鐵工、鍛冶  
 鐵工、鑄物  
 安全鶴嘴製造販賣  
 鐵工  
 鐵工、製罐  
 鐵工、煙草  
 鐵工  
 鐵工  
 鐵工  
 諸機械製作、鐵骨、製罐  
 鍛冶

一八七  
 三四三  
 六六六  
 七四三  
 七四三

東區神原町  
 同恩田通  
 同見初町  
 西區上町  
 同本町  
 同三炭町  
 同  
 同舊驛通  
 同海岸通  
 琴芝

藤本稻次郎  
 木村新一  
 合名會社宇部鍛冶職組合  
 仰木鹿吉  
 山田直吉  
 竹内貞之  
 岡本朝彦  
 藤本萬助  
 植木房二郎  
 株式會社宇部鐵工所  
 金藤平二郎

度量衡器

二六五

同常盤通

濱田陸士











石炭乾餾(製炭)  
 石炭探掘、製炭  
 石炭、廻船問屋  
 石炭、廻船問屋  
 石炭、廻船、ストープ  
 石炭、廻船問屋  
 石炭、木炭  
 石炭、廻船問屋  
 石炭、廻船問屋  
 石炭、廻船問屋  
 石炭探掘、製炭、運輸  
 石炭、販賣  
 石炭探掘

下關七四一八

二二四	東區大正町	日本製炭合資會社
七一四	同東見初	東見初炭鑛
九八	西區本町	根角政一
五一二	同	宇野喜平
一五二	同	矢野政太郎
四五〇	同	瀬川タケ
一五七	同海岸通	原田繁松
五一	同	藏藤丈助
八二	同	松重幸兵衛
五二	同	元田初太郎
一八五	同沖ノ山	沖ノ山炭鑛株式會社
二八五	同	新沖山炭鑛販賣所
二六八	同海岸通	西沖之山炭鑛

(92)

△薪炭、煉炭

薪炭、日用品  
 薪炭、日用品  
 薪炭、空物  
 製炭、機械金物  
 薪炭、煉炭  
 薪炭、煉炭  
 木炭卸、有價証券  
 薪炭、酒、精米  
 木炭、炭卸

下關七五七六

勉強屋

三七六	東區常盤通	山本良祐
四三七	同錦橋通	廣田常治
六二一	同水神町	增岡タヨ
四三	同榮町	畑谷傳三郎
六二	同柳町	原田嘉一郎
三一六	同宮地町	合名會社内田金物店
四六八	西區上町	杉山徳太郎
五二九	同北町	濱村貞一
	同	西島治三郎
	同	高橋藤次郎
	同	中村幸作

(93)



煉炭製造 田中屋 七二  
 煉炭、自轉車  
 煉炭製造、セメント  
 木炭、煉炭

△油類、カーバイト

石油、機械油、海運 三九一  
 カーバイト、鐵工  
 各種油類、カーバイト 三三〇  
 各種油類、カーバイト、雜穀 六一二  
 カーバイト、日用品 五〇一  
 發動機油製造販賣 三三六  
 銃器、火藥、保險 東區榮町

□銃器、火藥

西區海岸通 矢王昇  
 同三炭町 山田伊之介  
 東區見初町 藤田藤右衛門  
 同 後藤春助

東區錦橋通 原田次郎  
 同岬通 金本萬次郎  
 同本町 前田定一  
 西區北町 伊藤祐一  
 同海岸通 吉國繁造  
 同 日本發動機油株式會社  
 三輪商事合資會社

□藥種、賣藥、醫療機械

賣藥 有田ドラッグ賣店 二六五  
 製藥調劑、醫療器械 大坂二五〇九 同常盤通 長濱三  
 調劑、賣藥 下三三八八 同錦橋通 藤里義夫  
 賣藥、化粧品 千壽堂 同 藤波信義助  
 まむし、うなぎ藥 センブリ堂 同 公田源泰清  
 製藥調劑、賣藥 同 正木 藤本 作  
 製藥調劑、賣藥 同 藤本 榎 二  
 藥種、酒類 同 松澤 祐二 一郎  
 賣藥、化粧品類 同 矢野 健 一郎  
 製藥調劑、醫療器械 赤旗藥局 五四〇  
 藥種、化粧品 同 廣田新二 一郎  
 賣藥、化粧品 同 木岡辰之助  
 同 河內 太郎



# 第六部

金 有 價 証 券 賣 融  
 保 有 價 証 券 買  
 運 輸、交 通、倉 庫 險  
 雜 業  
 旅 館  
 料 理、貸 座 敷、置 屋

賣 藥、化 粧 品	超 生 堂	五三七	同	末	近	兒	藤	野	進
製 藥、賣 藥、調 劑		二二七	同	佐	末	近	藤	玉	基
製 藥、賣 藥、調 劑	同 生 堂	六	同	伊	末	近	藤	永	正
藥 種 賣 藥 工 業 藥 品 卸 小 賣	下 關 三 〇 九 七 堂	三三八	同	小	伊	末	藤	村	信
藥 種、賣 藥、毛 糸	隆 生 堂	五五五	同	湯	小	伊	藤	川	是
製 藥、賣 藥、調 劑	下 關 五 三 一 七 堂	三六六	同	中	濱	湯	小	川	精
製 藥、賣 藥、調 劑	三 炭 藥 店	八〇一	同	笠	濱	湯	小	川	隆
製 藥、賣 藥、調 劑	仲 光 堂		同	東	濱	湯	小	川	安
藥 種、文 具、化 粧 品			同	久	濱	湯	小	川	治
賣 藥、化 粧 品			同	光	濱	湯	小	川	一
			同	助	濱	湯	小	川	二
			同	吉	濱	湯	小	川	山